

2009年 社団法人 吹田青年会議所

# 40周年記念誌

40  
Anniversary





Junior Chamber International Suita

Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

## J C の三信条

TRAINING (修練)

地球最大の宝は個々の人格にあり。

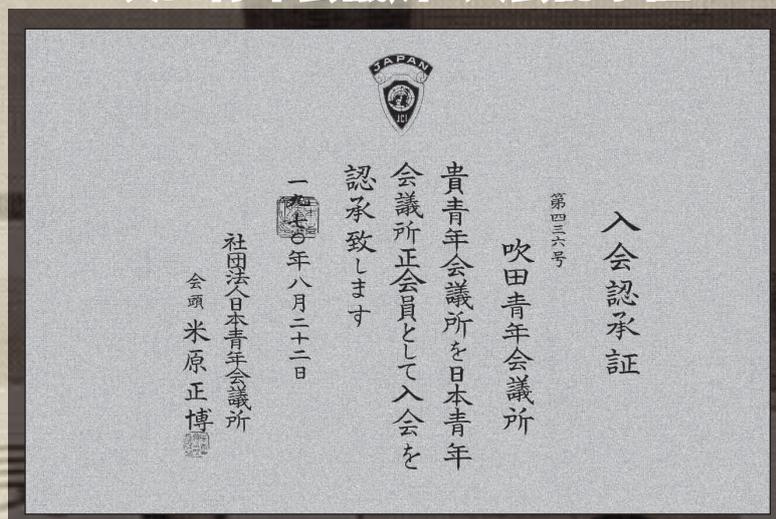
SERVICE (奉仕)

社会への奉仕は人生最大の仕事である。

FRIENDSHIP (友情)

友情は国家主権に優先する。

## 吹田青年会議所 入会認承証



## 2 JCI 概要

JC ソング / 若い我等 / JCI クリード / JC 宣言 / 綱領

## 4 40周年！みなさまのご支援・ご協力のおかげです。

- 4 (社) 吹田青年会議所 第40代理事長よりご挨拶
- 5 ご祝辞 | 大阪府知事
- 6 ご祝辞 | 吹田市長 / 吹田商工会議所会頭
- 7 ご祝辞 | (社) 日本青年会議所会頭 / (社) 日本青年会議所 近畿地区 大阪ブロック協議会会長
- 8 ご祝辞 | (社) 箕面青年会議所
- 9 ご祝辞 | 香港浩洋青年商會 (オーシャンJC) 会長

## 10 (社) 吹田青年会議所のアルバム

## 11 JC 活動 40年の歩み

活動紹介 / The history of Suita JC's ACTION

### 設立から30年間

- 11 **1970 - 1974**
- 12 **1975 - 1979**
- 13 **1980 - 1984**
- 14 **1985 - 1989**
- 15 **1990 - 1994**
- 16 **1995 - 1999**

### 近年10年間の歩み

- 17 **2000**  
まちのハーモニーを奏でよう  
—まちづくりネットワークの構築へ向けて—
- 18 **2001**  
「たすけあいの心」組織へそして地域へ  
～力の根源は人間力にあり～
- 19 **2002**  
まちに笑顔を、地域にゆめを  
「こころ社会再創造物語」
- 20 **2003**  
「感じて動く」  
現実を見て夢を捨てるより、夢を見て現実を試みよう
- 21 **2004**  
「温個知心」  
個を尋ねて、先人の想(こころ)を感じ、  
我々の想(志)を未来へ伝えよう！

### 近年4年間の歩み

- 22 **2005** あした  
「情熱が、明日をつくる！」
- 24 **2006**  
“妥協なき行動” ～愛する我がまちのために～
- 26 **2007**  
優しさ溢れるまちへ  
～垣根を超えた理解から生まれる優しさを力に！～
- 28 **2008**  
未来(あした)のために、心をつなぐ！

## 30 年表

JCと世の中の記憶に残る出来事年表

## 31 40周年を迎えてこれまでの動き

## 32 45周年に向けて

## 34 歴代理事長の紹介 / 卒業者リスト

## 36 2009年度の紹介

- ・組織図
- ・40周年記念事業のチラシ
- ・D-SUITAのチラシ

## 37 実行委員長挨拶 / 編集後記

## The Creed of Junior Chamber International

We believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality; and

That service to humanity is the best work of life.

JCI  
クリード



JC  
ソング

1. JC JC JC  
世界を結ぶ 若き<sup>ちから</sup> 団結  
新しき<sup>よ</sup> 世紀の<sup>のぞ</sup> 希望みとなりて  
永遠に<sup>とわ</sup> 繁栄えん<sup>さか</sup> 我等の集い
2. JC JC JC  
奉仕の理想 探求<sup>もと</sup>めつつ  
祖国の<sup>くに</sup> 進歩の<sup>あゆみ</sup> 力となりて  
先駆けゆかん 我等の集い



JC 宣言

日本の青年会議所は  
混沌という未知の可能性を切り拓き  
個人の自立性と社会の公共性が  
生き生きと協和する確かな時代を築くために  
率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ Jaycee は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者相集い力を合せ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

若い我等

一、  
若い我等が手を取り合って  
進む行手の青い空に  
輝くJC明るい希望  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか

二、  
世界を結ぶ若さの力  
互に尽くす楽しさこそ  
JCの理想だ新しい日だ  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか

三、  
若い我等の心を集め  
つくる集いに未来をかけて  
JCの仲間皆信じあう  
足なみをそろえて  
行こうじゃないか

# 40th Anniversary

大阪府知事  
橋下 徹



## ご挨拶

1970年、「人類の進歩と調和」をテーマにこの吹田の地で日本万国博覧会が開催されました。吹田青年会議所は、その記念すべき年に社団法人箕面青年会議所の暖かい友情と熱意溢れるスポンサーシップにより、全国436番目の青年会議所として認証され、ここに創立40周年を迎えるにいたしました。

永きにわたり吹田青年会議所の活動にご支援・ご協力・ご理解をいただきました地域や行政の皆様、各地青年会議所の同志達、そして今日まで輝かしい歴史と伝統を築いてこられた諸先輩方に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。皆様方と共に、この40周年を迎えるにいたしました事、メンバー一同喜びに満ち溢れております。

創立以来、我々は「明るい豊かな社会」の実現にむけ、ひとづくり・国際交流・青少年育成等、様々な活動をしてまいりました。「すいたを郷土として愛し、共にまちづくりを行う『ひと』をつくる」というビジョンのもと、まちづくりに参加する「ひと」が一人でも多く増える事を目指し、日々歩み続けてまいりました。

また本年におきましては「Believe Your Possibility」というスローガンを掲げ、『ひと』

や『まち』に対する未来への可能性が膨らむような活動を実施しております。

私達はこの街で暮らす『すいた市民』として豊かな自然、利便性のある交通拠点といった恵まれた環境に恩恵を受けるだけでなく、これから先も住み続けたい『まち』である為には何をすべきか考え、行動を起こさなくてはならない時期だと思えます。吹田市が掲げる「持続可能なまちづくり」とは市民と地域と企業が一体となってまちづくりに取り組む姿の中にあると考えます。我々社団法人吹田青年会議所は『2014 Sustainable City その先へ』という新たな中期ビジョンを掲げ、まちと市民、市民と企業、企業とまちが調和する社会を理想のまちとして「持続可能なまち」のその先へ、世界のどの都市よりも進んだ、誇りある吹田市を目指し、「英知と勇氣と情熱」をもって率先して取組んでまいります。

結びになりますが、創立40周年記念式典にあたりまして、青年会議所運動・活動に對しまして、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 祝辞

社団法人吹田青年会議所が、この度創立40周年を迎えられたことを心からお祝いたします。皆様には、日ごろから大阪府政の推進に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

吹田青年会議所の皆様には、昭和45年の設立以来、「明るい豊かな社会の創造」を理想に掲げられ、市民一人ひとりがまちに對しての意識を持ち、貢献することを目指し、真摯なご活動を展開してこられました。

新しい時代をリードする皆様が、地域の活性化や次代を担う子どもたちが将来への希望や夢を持つことができる社会づくりに向け、精力的な取組みを進めておられますことを大変心強く思っています。

大阪府としましても、「大阪は確実に変わりつつある」と変化の兆しを感じて頂けるよう、教育力の向上や、関西州の実現に向けた取組みなど、明るく笑顔あふれる大阪づくりに全力で取り組んでいきますので、皆様には更なるご支援をよろしく願います。

結びに、40周年の佳節を契機とした、社団法人吹田青年会議所のみならずのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

# 40th Anniversary

社団法人吹田青年会議所  
第40代理事長  
瀧川 健一郎



## 祝辞

社団法人吹田青年会議所が、創立40周年という節目の年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。



吹田市長  
阪口 善雄

吹田青年会議所におかれましては、1970年、日本万国博覧会の開催と時を同じくして、「明るい豊かな社会の創造」を理想として創立されました。以来40年の長きにわたって、「まちづくりは、ひとづくり」を合言葉に様々な地域活動に取り組んでこられ、「生き方を学ぶ大学」として、各分野のリーダーたる人材を数多く輩出してこられました。市民活動におけるパイオニアとして、今年で同じく40年を迎える吹田まつりや、「吹田まちづくり、人づくり市民サミット」などに取り組まれ、ここ吹田の地で輝かしい歴史を刻んでこられたことに、深く敬意を表する次第です。

40周年を契機に、市民が主役のまちづくりの開拓者として、ますます大きな「夢」の実現に向け、羽ばたかれることをご祈念、ご期待申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝辞

社団法人吹田青年会議所創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立から40年間、地域社会の発展にご尽力された諸先輩方の功績に敬意を表すると共に、志を受け継いだ現役JCMメンバーの皆様にお祝いと感謝を申し上げます。



社団法人日本青年会議所  
第58代会頭  
安里 繁信

本年度、社団法人日本青年会議所は「真日本建国」に向けて、我々JAYCEEのひとりひとりが強靱な思想と哲学を身に纏い、確固たる信念を持った青年経済人として明るい豊かな社会を築き上げる運動を展開してまいります。己を律し、確かな見識と揺ぎない信念をもって、お互いを賞賛し認め合う「アドマイヤー型社会」の実現が、真に誇れる国づくりへ繋がると確信しております。

創立40周年を迎えられた社団法人吹田青年会議所の皆様が、瀧川健一朗理事長のリアリティーと説得力のあるリーダーシップのもと、明るい豊かな社会の実現に向けて活躍されることをご祈念申し上げます、お祝いの挨拶とさせていただきます。



吹田商工会議所会頭  
夜久 亢宥

## 祝辞

吹田青年会議所創立40周年おめでとうございます。1970年吹田丘陵で盛大に開催された日本万国博覧会開催の年に設立されて以来、「明るい豊かな社会の創造」に向けて吹田市の若手経営者が青年会議所に結集され、意義ある活動を展開してこられた、輝かしい40年を心よりお祝い申し上げます。

この間に、活躍してこられたOBの方々が吹田商工会議所の青年部員、会員、議員、役員として産業面、社会面のリーダーになられ地域の繁栄と福祉に貢献されておられる事実がこの40年の成果を証明しています。ただこの40年の間に豊かになったとは申せ、個人の価値観、倫理観も大いに変化し、少なからぬ緊張を伴う社会構造になりました。

この移りゆく情勢の中で、JCCの皆さんが青少年や、地域の人々を通して「夢」を育み「絆」を強め、世界に、日本により良い未来を齎すべく努力しておられることに深甚の敬意を表する次第です。

吹田商工会議所も地域の総合経済団体として、産業の発展を通して会員企業と地域の賑わいづくりに貢献すべく汗を流しています。

青年会議所も商工会議所も手段は異なりますが、目標とするところは共通していると考えています。これから、これまで以上に協力して地域の繁栄に知恵を絞り、行動を起こして世のため、人のために貢献して参りましょう。

40周年、まことにおめでとうございます。

## 祝辞

社団法人吹田青年会議所が記念すべき40周年をお迎えになられたこと、心よりお祝い申し上げます。

千里丘陵を舞台に「人類と進歩の調和」のテーマで開催された日本万国博覧会の開催と同時期に誕生された集いが、40年の時空を経て、現在も力強くまちの原動力となっていること、また、発足当初から現代まで、吹田の明るい豊かなまちづくりのため、この歴史を紡いでこられたメンバーおよび先輩諸氏に対して、心より敬意を表します。

大阪万博開催時には、未来の技術として発表された「携帯（無線）電話」や「ローカルエリアネットワーク(LAN)」等が、現代社会では必須のものになっているということは、時代の移り変わりの早さを実感すると同時に、先輩達が、未来に向かって「夢を現実にする」ために、技術を追求してこられた賜だと思えます。

我々は、このめまぐるしく状況が変化する現代社会において、JAYCEEとして誇りを持ち、地域のリーダーとして時代に向き合い、現代を牽引するコア世代としての自覚と責任を持たなければならぬと考えます。

瀧川理事長のもと、メンバー1人ひとりが自身の、仲間、また、地域の可能性を信じ、JCCという強い絆で結ばれた同志とともに、吹田のさらなる発展を目指し、吹田から大阪へ、大阪から日本へ、日本から世界へと「熱い心と高い志」を発信されることを心より祈念申し上げます、祝辞と致します。



社団法人日本青年会議所 近畿地区  
大阪ブロック協議会 第45代会長  
望田 成彦

## 祝辞

On the occasion of the 40th Anniversary, I send my warmest regards and congratulations to the Suita Junior Chamber, President Ken and his team.

Being a successful chapter with long history, Suita Junior Chamber has been one of the active contributors of social developments in Japan. It also provides a wide range of opportunities for young leaders in Japan to develop their leadership skills, awareness of social responsibility, entrepreneurship and fellowship.

This year, Suita and Ocean Junior Chamber will have the opportunity to work on our joint project. Ocean Junior Chamber will bring students to Japan for exchange and learn about running a business. This will be an amazing cultural exchange opportunity for students from Hong Kong and Japan. We treasure this opportunity very much.

President Ken is a very passionate leader. I am sure with such passion, not only his dream will come true, but he will also make dreams of kids that Suita Junior Chamber served and your community's dream come true!

Congratulations to Suita Junior Chamber again; I wish the 40th Anniversary every success in all endeavors of Board of Directors.

Janice Yao  
President  
Ocean Junior Chamber  
(Affiliated with Junior Chamber International Hong Kong)  
Hong Kong

最後に改めて、吹田青年会議所の皆様方に祝福を申し上げます。理事会の皆様の努力が実り、40周年記念事業の全てが成功することをお祈り申し上げます。

瀧川健一朗理事長は、大変熱意あるリーダーです。その熱意で、理事長ご自身の夢だけでなく、吹田青年会議所が関わる子どもたちの夢、さらに吹田の地域の夢を実現していかれることと確信しております。

今年、吹田JCとオーシャンJCは合同事業を行います。オーシャンJCは、交流と経営を学ぶ目的で、学生達を日本に連れてまいります。この事業は、参加する香港と日本の学生にとって素晴らしい機会となることでしょう。我々はこの機会を心より大切にしたいと思っております。

その長い歴史を数々の成功で彩りながら、吹田青年会議所は、日本の社会発展のための活発な貢献者の一員として歩んでこられました。また、日本の若いリーダー達に対し、リーダーシップ能力、社会的責任に対する気付き、企業家精神や協調性を高める機会を与えてくれました。

和訳  
40周年記念に際しまして、瀧川健一朗理事長はじめ吹田青年会議所の皆様方に、謹んでお喜びとお祝いを申し上げます。

## 祝辞

社団法人吹田青年会議所が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、本日に至るまで、諸先輩方並びにメンバーの皆様が築いてこられた輝かしい実績と歴史に深く敬意を表します。我々、社団法人箕面青年会議所もスポンサーJCといたしまして、このときを共にお祝いできますことに大きな慶びを感じております。

本年度は瀧川健一朗理事長のもと、スローガン「Believe Your Possibility」を掲げられ、夢と絆が可能にする、すいたのまちづくりを掲げられ、明るい豊かなまちづくりのための様々な素晴らしい事業に取り組んでおられます。創立40周年という節目をさらなる飛躍の契機とされ、貴青年会議所が吹田のまちの「夢と絆」となって益々活躍されますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



社団法人箕面青年会議所  
第44代理事長

田中 順也

40th  
Anniversary



香港浩洋青年商會  
(オーシャンJC) 会長  
Janice Yao

40th  
Anniversary

# 1974 - 1970

## THE HISTORY OF SUITA JC'S ACTION

時代ごとのニーズや課題に対して、多様な活動をしてきた(社)吹田青年会議所。1970年の創立から現代までのさまざまな事業をのぞいてみたい。



### THE HISTORY OF SUITA JC'S ANNIVERSARY

## 30TH

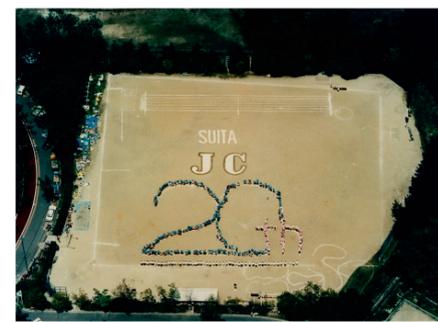
30年前に見た「人類の進歩と調和」への夢を、21世紀を目前に今再び考えよう、とメッセージを込めた30周年記念大会



1999年7月3日 アメニティー江坂内 吹田江坂テニスセンターにて”誰だって輝きつづける愛がある” ボランティアフェスティバルを開催しました。そして、同年8月21日(土)万博記念ホール 太陽の塔広場にて、”今再び考えよう、人類の進歩と調和”をテーマに30周年記念式典を開催しました。

## 20TH

全員で創った20th



1989年4月29日(みどりの日) 日生グラウンドで、吹田市の子供を対象に創立20周年記念事業「わんぱくオリンピック」を開催し、参加者全員の協力で20thの人文字を創り、セスナ機にて上空より撮影を行いました。

## START 1970

この年から我ら吹田JCは始まった!



1970年4月12日 毎日放送MBSミリカホールにて、(社)吹田青年会議所の創立総会が行われ、「英知と勇気と情熱をもって、わが郷土吹田市発展のために貢献すること」を誓い、吹田青年会議所の創立が宣言されました。※この年、アジアで初めての万国博覧会が吹田で開催されました。

## 10TH

人形劇 子ども達は大喜び☆



国際児童年のこの年、劇団カッパ座を招いてぬいぐるみ人形劇「孫悟空」を公演しました。市民会館大ホールは約1700名の市民が来場し、2回公演とも大盛況。入場料の200円を全て文化会館(メイシアター)建設基金として吹田市に寄贈しました。

第1期 1970年度 \*会員数: 63名/卒業生: 1名

「人類の進歩と調和を目指して」



木村 俊之 初代理事長

#### 主な事業

- \*創立総会
- \*勤労青年プール紹介
- \*万博ホスト・ホステス水泳大会
- \*吹田市制30周年記念参画【吹田市民の花”さつき”決定】
- \*認証証伝達式



1970 吹田JC創立総会

第2期 1971年度 \*会員数: 65名/卒業生: 6名

「フレンドシップ」



曾呂利 昌弘 2代理事長

#### 主な事業

- \*新年賀会始まる
- \*日刊紙記者クラブ懇談会始まる
- \*LIAプログラムの研修
- \*家族ボウリング大会
- \*吹田JC広報誌創刊号発行
- \*排気ガス調査
- \*夏の家族会始まる
- \*児童招待スケート大会始まる
- \*クリスマス家族会



1971 じゃがいも会



1973 クリスマス会

第3期 1972年度 \*会員数: 72名/卒業生: 4名

「明るく豊かな地域社会づくり」



井上 義信 3代理事長

#### 主な事業

- \*市民意識調査
- \*交通標識総点検
- \*児童英会話教室始まる
- \*市民代表者懇談会
- \*JC婦人会の集い
- \*一日交通指導員
- \*LIAその実践



1974 5周年式典



1974 健康祭り

第4期 1973年度 \*会員数: 73名/卒業生: 3名

「JC運動は市民のなかで」



増田 泰士 4代理事長

#### 主な事業

- \*「親と子」と「土」の1日
- \*吹田青少年団体代表者会議
- \*ベトナム公式訪問
- \*子供カーニバル自転車安全教室
- \*空地開放運動
- \*ブルーライン作戦【青少年に夢と希望を】

第5期 1974年度 \*会員数: 83名/卒業生: 8名

「見なおせよう、見きわめよう、そして自ら行動しよう」



関山 守洋 5代理事長

#### 主な事業

- \*吹田JC 5周年記念式典
- \*健康まつり
- \*キリン草撲滅運動
- \*スズムシ作戦
- \*消防フェスティバル始まる
- \*淀川100 野球祭
- \*アジア青年の船
- \*なかよしJCの締結



1974 消防フェスティバル

# 1984 - 1980

# 1979 - 1975



1981ちびっ子道場



1982吹田市子ども野外カーニバル



1983夏の家族会

第15期  
**1984年度** \*会員数：77名/卒業者：9名

**幸福への挑戦**  
**「豊かな心と生きがい求めて」**

**主な事業**

- \*国際スポーツ大会 (留学生及在日外国人を迎えて)
- \*錬成合宿 (伊勢)
- \*市政懇談会
- \*ロックフォード友好協会歓迎吹田デー
- \*記念事業パートI 「三代交流野外フェスティバル」
- \*記念事業パートII 「チャリティコンサート」
- \*15周年記念式典
- \*クリーン作戦

**安達 昌秀**  
15代理事長



1980家族親睦ソフトボール大会

第12期  
**1981年度** \*会員数：100名/卒業者：5名

**「考えよう行動しよう**  
**明るい吹田を市民と共に」**

**主な事業**

- \*「社団法人」格取得
- \*市政懇談会
- \*防衛問題研究会
- \*ちびっ子道場
- \*LD道場
- \*国際井戸端会議
- \*青少年文化活動状況調査
- \*あいさつ運動

**成尾 紹雄**  
12代理事長

第13期  
**1982年度** \*会員数：101名/卒業者：15名

**「自立の心・明日への創造」**

**主な事業**

- \*チャレンジあつまれチビッコ
- \*ジュニア・オリジナルコンサート
- \*オフィスコンピューター研修会
- \*市政懇談会 (I・II)
- \*アジアコンファレンス (宮崎) 参加
- \*子供カーニバル
- \*国際シンポジウム (留学生を迎えて)
- \*交通安全運動

**中川 克**  
13代理事長

第14期  
**1983年度** \*会員数：92名/卒業者：11名

**「創ろう心豊かな地域社会」**

**主な事業**

- \*市政市民会議の調査研究
- \*今こそ民間外交を (留学生を迎えて)
- \*市政懇談会
- \*スケート大会
- \*21世紀シンポジウム (明日の吹田を創るのはあなた)
- \*子供サマーキャンプ (姉妹都市スリランカの子供たちと)
- \*吹田まつり

**堀田 稔**  
14代理事長

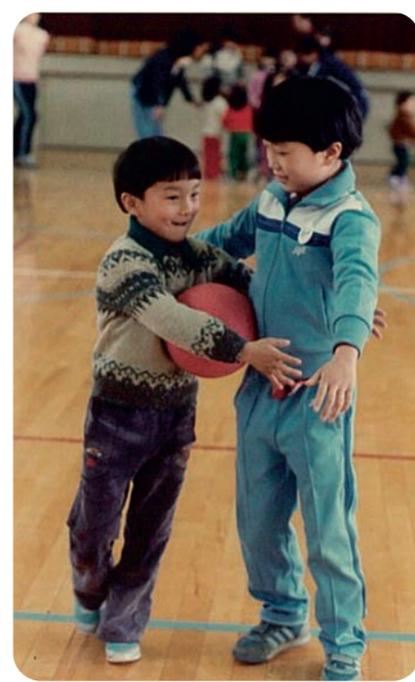
第11期  
**1980年度** \*会員数：97名/卒業者：3名

**「もっと知ろう人間を 社会を 世界を」**

**主な事業**

- \*JC英会話サークル
- \*家族親睦ソフトボール大会
- \*ロックフォードJC吹田デー
- \*外国人懇談会
- \*JCIアジアコンファレンス参加 「シンガポール」
- \*中学生弁論大会
- \*交通安全運動
- \*史跡ハイキング
- \*JCI世界大会 大阪にて開催

**関山 正彦**  
11代理事長



1984国際スポーツ大会



1976消防教室始める



1977元旦マラソン



1978ロックフォードちびっ子親善大使

第7期  
**1976年度** \*会員数：65名/卒業者：5名

**「磨け JAYCEE 活かせ JC」**

**主な事業**

- \*日本JC京都会議
- \*花の種配布
- \*第7回「吹田まつり」主管
- \*クリーンデアンドクリーンデー
- \*淀川102
- \*消防教室始まる
- \*LD道場
- \*交通問題を考える会

**加野 元**  
7代理事長

第8期  
**1977年度** \*会員数：76名/卒業者：7名

**「考え、行動し実現しよう**  
**素晴らしいJC、明るい社会」**

**主な事業**

- \*元旦マラソン大会
- \*会員錬成合宿
- \*児童ロックフォード派遣
- \*交通安全ワッペン寄贈
- \*淀川103 淀川マラソン
- \*吹田まつり協力
- \*都市分析研究
- \*交通安全パレード

**藤満 宣夫**  
8代理事長

第9期  
**1978年度** \*会員数：73名/卒業者：3名

**「拡げよう JCの輪を」**

**主な事業**

- \*ロックフォード友好協会歓迎吹田デー
- \*都市環境実態調査
- \*我経営及び職場を語る会
- \*日本JC褒賞 国際平和賞受賞
- \*新入会員セミナー
- \*吹田市民の木発表 【クスノキ】

**瀧川 紀征**  
9代理事長

第10期  
**1979年度** \*会員数：95名/卒業者：8名

**「躍進と熟成をめざして」**

**主な事業**

- \*子供英会話教室
- \*ロックフォード市訪問
- \*会員英会話教室
- \*アジアコンファレンス吹田JCツアー
- \*経営セミナー
- \*創立10周年記念式典
- \*外国人懇談会
- \*市政懇談会

**川上 浩邦**  
10代理事長

第6期  
**1975年度** \*会員数：80名/卒業者：8名

**「挑戦しよう!!今こそ地域にJCを」**

**主な事業**

- \*「クリーン作戦」のクリーンデー
- \*花壇寄贈
- \*護美箱贈呈
- \*フェスティバル淀川101
- \*吹田JC OB交歓ソフトボール大会
- \*あすなる100-吹田の史跡をたずねて
- \*ハイキング始まる
- \*「吹田市長」を囲んで

**井上 暁夫**  
6代理事長



1977ワッペン配布



197910周年記念コンサート



1975あすなる100-吹田の史跡をたずねて



# 1994 - 1990

# 1989 - 1985



1990 J-C巨大迷路スタンプラリー



1991 わんぱく相撲



1989 わんぱくオリンピック



1992 レッツ・クリーン・マイ吹田



1993 ドッジボールSUITA・JCカップ

第21期  
1990年度 \*会員数：109名/卒業者：5名

「井の中の蛙（かわず）大海も知らず」



西川 哲成  
21 代理事長

- 主な事業
- \*1990吹田市民会議
  - 高齢化問題/環境問題
  - \*子供に夢と感動を与える自然との境遇 (無人島サバイバルキャンプ)
  - \*なかよしスケート大会
  - \*吹田市子供野外カーニバル
  - わんぱく相撲
  - \*二世のリーダーシップを考えるパート(I)(II)
  - \*留学生との交流事業

第22期  
1991年度 \*会員数：119名/卒業者：8名

「限りない未来・それは青年の夢 - 明日の地域社会のリーダーに -」



橋本 浩  
22 代理事長

- 主な事業
- \*吹田まちづくり・ひとづくり市民サミット
  - 地域社会における各種団体とのネットワーク
  - \*「楽しさいっぱい!!交通広場」& 「セーフティライダースクール」
  - \*親子ふれあいセミナー
  - \*サマーアドベンチャースクール
  - \*オーシャンJ Cとの姉妹提携継続
  - 調印式及び交流事業
  - \*なかよしスケート大会

第23期  
1992年度 \*会員数：131名/卒業者：12名

「創造ろろ 未来のまち・ひと・やめ - 心で築く新しい吹田 -」



山崎 陸治  
23 代理事長

- 主な事業
- \*レッツ・クリーン・マイ吹田
  - \*フレンド・オブ・マインド イン吹田
  - \*すいた子供環境サミット
  - 川や自然の緑地、公園や遊びについて
  - \*1992考えよう、ふるさと地球環境問題：水質汚染
  - 一般家庭排水について
  - \*なかよしスケート大会
  - \*吹田市子供野外カーニバル
  - わんぱく相撲

第24期  
1993年度 \*会員数：118名/卒業者：10名

「君の笑顔に逢いたい」



曾呂利 晴彦  
24 代理事長

- 主な事業
- \*エコスポ'93参画
  - もったいない運動
  - \*ドッジボールSUITA・JCカップ
  - \*レッツクリーンマイ吹田
  - \*吹田市子供野外カーニバル
  - わんぱく相撲
  - \*日港児童交流計画'93
  - \*なかよしスケート大会
  - \*LDタイム委員会対抗スピーチ合戦
  - \*夢実現ドリカムセミナーI・II

第25期  
1994年度 \*会員数：115名/卒業者：10名

「開け広がれ JC 運動」



大枝 正人  
25 代理事長

- 主な事業
- \*25周年記念事業
  - \*ひらけひろがれ花の街、すいた
  - \*平成の船渡御
  - \*2月度公開例会 (地球に平和をーボランティア活動とは)
  - \*吹田チャンプ'94
  - \*地球発見・ふれ愛発見
  - \*-すいた-国際理解の集い
  - \*吹田まちづくり・人づくり市民サミット
  - \*なかよしスケート大会



1994 ひらけひろがれ花の街、すいた

第16期

1985年度

\*会員数：85名/卒業者：11名



家村 武志  
16 代理事長

「団結と躍進」  
友情とふれあいの輪を広げよう!!

- 主な事業
- \*LD道場
  - \*経営スクール
  - \*教育懇談会
  - (1)学校のあるべき姿
  - (2)家庭教育のあるべき姿
  - \*なかよしスケート大会
  - \*家族でフィーバー
  - \*「白銀にチャレンジ」
  - \*羽幌と吹田の青少年交歓会
  - \*「親と子」の寺合宿
  - \*カントレイ・イン・吹田
  - \*「音楽交歓会・ホームステイ」
  - \*ハガキ絵画・イラストコンテスト
  - \*日本JC褒賞
  - 国際平和推進に関する運動優秀賞受賞

第17期  
1986年度 \*会員数：85名/卒業者：3名

「明日への可能性を求めて」



足立 善信  
17 代理事長

- 主な事業
- \*なかよしスケート
  - \*「親と子」のふれあいハイキング
  - \*吹田市子供野外カーニバル
  - \*三世交流ゲートボール大会
  - \*LD道場
  - \*教育討論会
  - \*夏の家族会
  - \*家族ボウリング大会
  - \*国際フェスティバル
  - \*クリスマス家族会

第18期  
1987年度 \*会員数：88名/卒業者：8名

「未知への挑戦」



柳川 義行  
18 代理事長

- 主な事業
- \*なかよしスケート大会
  - \*LD教室
  - サロンアンドJCパート(I)(II)
  - \*経営セミナー
  - \*ちびっ子相撲吹田場所
  - \*「花と緑」絵画イラストコンクール
  - \*クリエイティブ・サ・ニュースタ
  - 「個性あふれ、文化かおる町をめざして」
  - \*春の交通安全運動
  - 吹田市内大規模駐車場キャンペーン
  - \*模擬会社設立

第19期  
1988年度 \*会員数：96名/卒業者：12名

「妥協なきリーダーに」  
夢ある未来社会に向けて



井村 卓治  
19 代理事長

- 主な事業
- \*なかよしスケート大会
  - \*「親と子」ふれあいコンサート
  - 関西大学OB演奏会
  - \*吹田市・羽幌町青少年交歓会
  - \*異業種交流企業名簿発行
  - \*わんぱく相撲吹田場所
  - \*会員オリエンテーション
  - 「真のリーダーの実態を求めて」
  - \*吹田大ジャンケン大会
  - \*JC(アジア)コンファレンス
  - 吹田JCツアー「ホンコン・マカオ」
  - \*姉妹JC締結調印式典「海洋JC」
  - \*姉妹JC締結スポーツ大会



1985 カントレイ歓迎会



1986 全国大会イン富山



1988 わんぱく相撲



1987 模擬会社設立

第20期  
1989年度 \*会員数：94名/卒業者：14名

「ふりがえろろ 原点を  
進もう 明日に向かって」



木村 義雄  
20 代理事長

- 主な事業
- \*新入会員セミナー
  - \*LD道場パート(I)(II)
  - \*経営スクール 吹田青年経済人会議
  - \*なかよしスケート大会
  - \*吹田市子供野外カーニバル
  - わんぱく相撲
  - \*わんぱくオリンピックきみがNO.1
  - \*吹田市・羽幌町青少年交歓会
  - 北海道で友達をつくろう!!
  - \*国際セミナー「あなたのマナーは国際的?」
  - \*アジア太平洋横浜会議参加
  - \*オーシャンJ Cとの友好事業
  - \*オーシャンJ Cとの交流事業
  - \*20周年記念式典





新年御祈禱

●吹田青年会議所・吹田ローターアクトクラブ合同例会

2月の定例会は他団体とのネットワークの構築の実現に向け初めての試みとして吹田ローターアクトクラブ (RAC) との合同で行いました。大阪ブロック協議会より松浦豊氏をお迎えし、ボディランゲージ (遊びのボディランゲージではなく手などの動作でより効果的に使い自分の話しを興味深く相手に伝える手法) を一緒に勉強し交流を深めました。

18～30歳で構成される RAC とお互いに協力する事で将来的に吹田 J C へ入会するきっかけ作りにもなりました。J C の積極性をアピールする事がポイントでした。

●吹田 J C まちづくりビジョン策定

J C も社会の一員であるとの認識から、吹田 J C のまちづくりに対する方向性を示し、全メンバーがより明確に運動の方向性を理解出来、対外の方々にも分かりやすく説明する一助となるために「吹田 J C まちづくりビジョン」を策定しました。これは現在の会員手帳にも掲載されております。

(継続事業)

●「ひらけひろがれ花の街すいた」運動成熟への推進

「この運動が自立し、直接、市民と行政、さらには、企業が対話・連携し、より良い吹田の環境作りの一旦を担う。」

を目的とし、フラワーボランティアより組織として「フラワーメイト」(正式名称:「ひらけひろがれ花の街すいた」すいたフラワーメイト)を立ち上げました。

「市内を花で一杯にする美しい街づくり」を目的としました。フラワーメイトの成熟に向けて会員自体で運営出来るような携わり方を目指しました。

(継続事業)

●誰だって輝き続ける愛がある II

～ボランティアフェスティバル 2000in 万博～

「真の市民社会を目指して ～個と社会貢献を結びつけるために～」

をスローガンに、新しい 21 世紀にふさわしい市民主導の社会を目指し、

- 子供からお年寄りまで一人でも多くの市民に「私でもできる社会貢献」を考え、理解を深める事。
- 開催を通じてボランティア・企業・行政がそれぞれの結びつきを考える機会を与える事。
- 個人の社会貢献をサポートする基盤づくりの一助になる事。

を目的とし、万博公園お祭広場にて企業・ボランティアそれぞれ 100 ブースを出し平和コンサート、市民ふれあいサッカー教室、ガレージセール等を行い、沢山の方々に来場頂きました。

活動軌跡

1/18	◆新春の集い(メイシアター)
2/15	◆2月度公開例会(さんくすホール) 講師:大阪BL 松浦豊君 テーマ:ボディランゲージセミナー
3/6	◆3月度公開セミナー例会(メイシアター) 講師:アサヒビール(株) 樋口廣太郎氏 テーマ:日本経済の現状と新生へのシナリオ
4/18	◆4月度例会(ガンバ大阪 クラブハウス) 講師:大阪サッカー指導者協会 水口洋次氏 テーマ:スポーツを通して人間形成の育成を学ぶ
5/7	◆ひらけひろがれ花の街すいた 春の勉強会
5/12	◆北地域合同例会(帝国ホテル大阪) 講師:元タカラジェンヌ 寿ひずる女史 テーマ:歌劇団の心
5/27~30	◆ICJアスバック(高雄)
6/10・26	◆ジョイントプロジェクト～青少年の環境教育～
6/18	◆家族例会 オーシャンJC・外国人家族と共に
7/18	◆7月度例会 講師:建築家 衛藤照夫氏 テーマ:個性あるまちづくりをめざして
7/29	◆吹田まつり 神崎川会場 ドラゴンボートレース参戦
8/18	◆8月度OB合同例会
8/27	◆ボランティアフェスティバル2000in万博(万博記念公園)
9/18	◆9月度例会 講師:日本JC 神下正弘君 テーマ:スマイルセミナー
10/4~8	◆日本JC全国大会(福山)
10/26	◆10月度例会(3LOM合同例会) (千里阪急ホテル)
11/5~12	◆JC世界会議(札幌)
11/17	◆11月度例会 講師:鳥羽JC 羽山征也君 テーマ:インターネットで起こすまちづくり
12/9	◆クリスマス家族会
12/19	◆12月度例会(新大阪江坂東急イン)

\*会員数: 77名/卒業生: 12名



環境教育フェア



石川 勝  
31 代理事長



1999 サッカーフェスタ

1995年度 \*会員数: 109名/卒業生: 10名

「熱き燃ゆる想いを地域に」



淀井 満福  
26 代理事長

- 主な事業
- \*ひらけひろがれ花の街すいた
  - \*指導力セミナー「心と身体の鍛錬」
  - \*自然との共生プログラム
  - \*IHB意識を高める事業
  - \*全国大会副主幹
  - \*ドッジボール大会
  - \*吹田操車場跡地利用についての提言
  - \*吹田市子供野外カーニバル

1996年度 \*会員数: 104名/卒業生: 7名

「リーダーシップ」  
- 育もう地域の絆 -



前田 健治  
27 代理事長

- 主な事業
- \*吹田まつり
  - \*「吹田まつり神崎川宣言」採択
  - \*吹田子供野外カーニバル
  - \*指導力開発スクール
  - \*ひらけひろがれ花の街すいた
  - \*地球市民の自覚をもつための事業
  - \*オーシャンJC来日
  - \*なかよしスケート大会

1998年度 \*会員数: 85名/卒業生: 12名

「21世紀へ TAKE A STEP」  
- 育もうフレンドシップ -



木田 昌宏  
29 代理事長

- 主な事業
- \*京都例会
  - \*ひらけひろがれ花の街すいた
  - \*市民とのフレンドシップ事業
  - ドッジボール大会
  - \*オーシャンJC来日・訪問
  - \*「内なる国際化」への運動 (吹田外国人市民運動)
  - \*ガンバ大阪ファンの集い
  - \*経営者セミナー
  - \*指導力セミナー

1999年度 \*会員数: 77名/卒業生: 15名

「まちひとがこころを築く新時代」  
～ こころはいつもグローカリズム～



西形 方良  
30 代理事長

- 主な事業
- \*創立30周年記念事業
  - \*環境:ひらけひろがれ花の街すいた  
:吹田まつり
  - \*国際:吹田外国人会議  
:国際交流フェスティバル
  - \*青少年:宇宙(ソラ)と地球(ホソ)と ぼくたちと 星空学級'99
  - \*誰だって輝きつづける愛がある  
吹田ボランティアフェスティバル
  - \*創立30周年記念大会  
記念講演:「いま再び考えよう人類の進歩と調和」  
「これからの人類の進歩と調和」



1995 アンパンマン花壇



●青少年に対する取組み

「こころ社会」実現に向けて、社会の基盤をなす青少年の健全育成のための事業を通じて、社会を改善していくという、「変革の能動者」としてのメンバーの意識を高める事を目的とし、2つの事業を行いました。



■1回目-青少年を取り巻く問題に関する実態調査

少年院という、健全な育成を何らかの理由で阻まれた青少年のための矯正、教育、更正施設を実際に訪れ、施設を見学すると共に、青少年問題の最前線で闘っている教官の先生から、非行の実体、入所者の生活、社会復帰の現実、現場の苦勞、現状の抱える問題点等について話を聞かせてもらいました。先生の熱意溢れるお話、施設の実状等、実際に訪れたメンバーがそれぞれに思うところがあり、同日行われた意見交換会では活発な議論がなされました。今後、青少年問題について一人でも多くのメンバーの目を惹きつけるための試みとして、講師を呼んで話を聞くというスタイルではなく、こちらから出向いて見学をするという方式は効果があると感じます。また、非常に重要な事として、意見交換会には必ず見学当日にする事を強く推奨します。メンバーがその日見て聞いて感じた事を、その日の内に吸い上げる事で、思いのこもった、鮮度の良い意見を取り込む事が出来、その後の事業や活動にとって大きな参考になると感じました。

■2回目-世代間の相互理解のための試み「きょうはゆうたるねん」

犯罪をはじめ、不登校、いじめなどの深刻な問題だけでなく、人間関係や経済意識、道徳観念等、広いテーマを投げかけて、子供達が持つ価値観を理解する事を目指し、J.Cメンバーと、子供達との討論会を通して、子供達から生の声を聞きました。子供達から寄せられた貴重な意見や、独特の視点などは、参加したメンバーにとって、多くの気づきををもたらしてくれる物であったと思います。何よりも大きな気づきは、この事業に参加してくれた子供達と同じ気持ちや感覚はかつて誰もが持っていたものであり、いつの間にかそれらを忘れてしまった大人達にとって、子供達の気持ちを理解する事は、ただ「思い出し」さえすれば、決して不可能ではないという事でした。今後、事業についてはあれもこれもと目的を欲張らずに、やりたい事、達成したい事を絞り込む事、特に青少年に関わる事業では子供達の心理や保護者の心理も良く熟慮して参加しやすいよう取り計らうことが大切です。

野外活動を通して自己修練の場を提供し、自分自身を再認識する事により、人間力開発の礎にする。を目的とし、修験道の聖地大峰山系の登山を中心としたグループ研修を1泊2日で行いました。今後、研修事業においては、研修当日実施までの期間についてJ.Cならではの創意工夫が求められています。

野外活動を通して自己修練の場を提供し、自分自身を再認識する事により、人間力開発の礎にする。を目的とし、修験道の聖地大峰山系の登山を中心としたグループ研修を1泊2日で行いました。今後、研修事業においては、研修当日実施までの期間についてJ.Cならではの創意工夫が求められています。

●02 北地域合同例会

主管を担当し、「感じよう!北地域の連携とLOMの団結」をテーマにアメニティ江坂にて行いました。600名のメンバーが参加し、エジプト考古学者、吉村作治氏をお迎えして「青少年教育を役割」と題して講演頂きました。また、各LOM対抗のダンスバトル競技FOODBATTLE・LOM-PRタイムを行いました。J.Cとしてのみならず自ら何をすべきなのかを学び、「LOMの団結と友好を深めました。」



全面的なバックアップを得られた事が大阪ブロックでの最優秀事業賞に象徴される、この事業の大きな成果に繋がったと痛感します。帰国後の保護者から「子供が行く前と後とで、成長した。」「学校の先生に『自分の意見を言うようになった。』『積極的になった。』と言われた。」などの声を頂いた事が、もっとも大きな成果であると言えます。この成果を単年度のものとして終わらせるのではなく、参加した子供達との交流、青少年リーダーの育成等、今後の活動に繋がって行く事を願います。

\*会員数：60名/卒業生：9名



坂本一成  
33 代理理事長

●3月度公開例会

歴代日本J.C会頭上島一泰氏をお迎えし、「こころ社会」創造へ向けての挑戦をテーマに講演頂きました。大阪ブロックより松本会頭が出向されている事、吹田J.Cの気運を自然に高めていきました。33年目を迎えた本年、18年目を迎えて100%例会達成は全現役会員が経験したことのない未知の世界であり、大きな興味を引く事が出来ました。そして、なんとと言っても2000年度運動のリーダー上島歴代会頭にお越し頂いた事は100%達成のみならず、一般参加頂いた市民の皆様への青年会議所に対する理解と会員の拡大に大きな成果を与えて頂きました。

活動軌跡

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like 新年賀会, サッカーフェスタin吹田, 1月度京都例会, etc.

●公開性のある6月度例会の運営

落語家の桂福團治氏をお迎えし、一般53名をお招きして公開形式で行いました。手話落語を通してボランティアとは何か。古典落語という古くからある大阪のひとつの文化にふれる事により、大阪の文化そして吹田J.Cに興味をもってもらう事を目的としたこの例会は、古典落語を聴く機会が少ない方にも喜んで頂き、そして障害者等について考える機会となりました。一般の方々をお招きする事業では、しっかりした案内とメンバーの節度ある行動が大切です。

●吹田のシンボルを描こう 美術展の運営

市民が吹田にプライド、愛着、そしてまちづくりの意識を向上してもらえる吹田のシンボルを探す事。自分が導き出したシンボルと他の人が描いたシンボルと比較する事により、隠れていた本来の自分自身に気付く事。その結果、まちづくりに大切な『たすけあいの心』が育み、愛のあるまちが出来上がる。そんな目的を持って吹田市の児童1万4千名を対象に児童が思い、考える吹田のシンボルを、絵画・デザインにて募集。市内の駅(大阪モノレール)構内にて展示しました。



選ばれたシンボルで一番多かったのは、太陽の塔でした。これをぜひとも参考に市民の選んだ吹田のシンボルの第一位として発信して下さい。

●'01 サッカーフェスタ in すいた

ガンバ大阪及び諸団体と連携し、スポーツを通して青少年の健全育成を図り、今後のまちづくりの取組みに繋げる事を目的とし、1998年より参画しています。今後、この関わりを絆に変え、それを有効に活かしていけるよう、まちづくりの為に積極的に助言し、ガンバ大阪、その関係諸団体と動いていく事が大切ではないでしょうか。

●青少年事業

青少年の健全な育成と子供達が海外での体験を通して視野を広げる事を目的とし、小学校2年生から中学校2年生までの青少年18名を、台湾の新竹県へ連れて行き、現地の子供達との共同作業やボランティア活動を体験させる事業を行いました。メンバーの協力や努力もさることながら、100名を超える現地の青少年の動員、宿舍の確保、現地の特別養護老人ホームでのボランティア活動、現地の小学校での体験学習など、現地の新竹県政府の



'02

活動軌跡

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like 新年賀会, 1月度例会, 1/21 サッカーフェスタin吹田, etc.

\*会員数：72名/卒業生：12名



尾形 丈夫  
32 代理理事長



10月度例会

● 世代間を越えた交流によるひとづくり事業 **社会経験版**

「民間企業の教育参加」を推進し、仕事をする大人への青少年の視線を純粋なものへと導き、市民の隣人を理解しようとする心を育み、まちづくりを考える個を育成する事を目的とし、「大阪バッファローズ」「ガンバ大阪」「阪急電鉄」「大阪警察 110 番通報センター」「劇団四季」「大阪府議会」に御協力頂き、市内の小学生、中学生、高校生50名を対象に行いました。

各企業にて試合直前の練習等を見学し、職場の緊張した空気を学生に直接感じてもらいました。後日頂いた作文からも「どの仕事も、全て意義のあることであり、一生懸命取り組んでいることが、その仕事をすばらしいものにする。それが職業である。」というJCからのメッセージを感動をもって伝える事が出来ました。

● 世代間を越えた交流によるひとづくり事業 **情報発信版**

吹田市や青少年の情報を例会において発表する事により LOM 全体で対外事業を行う時の一助にする事を目的とし、2月、3月、4月、6月、7月の定例会において5分間行いました。

2月「民間企業の教育参加」3月「フリーター 417万人の衝撃」4月「CSRとSRI」6月「キャンプのお誘い」7月「動く吹田市」と題し、常に吹田市や青少年の事に関して正確な情報を求めるように、マスコミの取り上げ方やひとつの事件で青少年やまちをひとづくりにする事はやめよう、正確な情報・知識を持たないもの「きょういく」ほど危険なものはないとの思いで行いました。

● 2月度定例会

入会対象者7名をお招きし、ファイナンシャルプランナーである清水幸一氏を講師にお迎えし、「いまから考えよう相続における資産設計」と題し経済講座を行いました。

メンバー及び入会対象者が青年経済人であることから相続・資産・経済等の知識向上又は再認識を図る事で今後のJC・経済・社会活動において更なる飛躍及び地域社会への貢献へ繋がるリーダーシップとなるための知識のスキルアップとなりました。

● 35周年記念式典及び太陽の感謝祭



～深めよう絆、太陽の感謝祭～  
地域との連携で創る歴史と友情

アサヒビール吹田工場 ゲストハウスにて行いました。吹田JCの過去34年間の運動を顧みて、これまで携わった多くの市民・関係者に対し「感謝の意」を表現し、35周年という節目において、当青年会議所がさらに広く認知、理解される契機とする事を目的とし、吹田JCに縁のある方々400名以上をお招きして35年の歩みをスピーチと映像とモデル及び衣装デザイン(ファッションショー)で紹介、メンバーによるバンド演奏を行いました。

活動軌跡

- 1/9 ◆新年賀会(メシアター)
- 1/24 ◆1月度京都例会(京都)
- 1/25 ◆サッカーフェスタin吹田(吹田市立総合運動場)
- 2/18 ◆2月度定例会  
講師:(有)サクセスファイナンシャル・プランナーズ 清水幸一氏  
テーマ:いまから考えよう相続における資産設計
- 3/18 ◆3月度定例会 講師:OB 菅生新氏  
テーマ:話し方講座
- 3/19~22 ◆オーシャンJC訪問(香港)
- 3/21 ◆緊迫・プロジェクトその直前「近鉄バッファローズ観戦」(大阪ドーム)
- 3/27 ◆緊迫・プロジェクトその直前「ガンバ大阪観戦」(万博競技場)
- 4/3 ◆緊迫・プロジェクトその直前「ガンバ大阪観戦」(万博競技場)
- ◆緊迫・プロジェクトその直前「劇団四季観劇」(MBS劇場)
- ◆緊迫・プロジェクトその直前「劇団四季観劇」(MBS劇場)
- 4/5 ◆緊迫・プロジェクトその直前「劇団四季観劇」(MBS劇場)
- ◆緊迫・プロジェクトその直前「劇団四季観劇」(MBS劇場)
- 4/7 ◆緊迫・プロジェクトその直前「近鉄バッファローズ観戦」(大阪ドーム)
- ◆緊迫・プロジェクトその直前「近鉄バッファローズ観戦」(大阪ドーム)
- 4/19 ◆4月度定例会 テーマ:青少年教育について
- 4/24~28 ◆姉妹JC(香港浩洋JC)との連携(吹田・なんば)
- 4/25 ◆35周年記念式典(アサヒビールゲストハウス)
- 5/20 ◆5月(北地域合同)例会(帝国ホテル)  
講師:経営コンサルタント ジェームス・スキナー氏
- 5/22~25 ◆JCIアスパック(ペナン島)
- 6/18 ◆6月度定例会 講師:アイプロダクト 木村仁美女史  
テーマ:データベースの有効活用を学ぼう
- 7/20 ◆7月度定例会 講師:OB 大枝正人氏  
テーマ:「私のJCライフ」からチームワークの大切さを学ぶ!
- 7/22~25 ◆サマーコンファレンス2004(横浜)
- 8/7・8 ◆Make your day 翔かせ・君の夢翼(吹田市青少年野外活動センター)
- 8/18 ◆8月度OB合同定例会
- 9/17 ◆9月度定例会 テーマ:ひとづくり事業の報告
- 10/1~3 ◆日本JC全国大会(水戸)
- 10/21 ◆10月(3LOM合同)例会(千里阪急ホテル)  
講師:プロゴルファー 江連忠氏  
テーマ:健康
- 11/18 ◆11月度定例会(サニーストンホテル)  
講師:(株)日本旅行 平田進也氏  
テーマ:ほんまもんの顧客サービスとは...
- 11/22~25 ◆JCI世界会議(福岡)
- 12/12 ◆クリスマス家族会員交流会(プラチナム)
- 12/17 ◆12月度定例会(ホテルモントレ大阪)

\*会員数: 47名/卒業生: 4名



橋本 幸治  
35 代理事長

● 3月度定例会

1年間を通じて充実感と達成感のある「青年らしく明るく元気な実のある例会」を目指し、修練・奉仕・友情を促進する。を目的として設定されました。

OBで放送ジャーナリストである菅生新先輩を講師にお迎えし、「自己PRの手法」と題して話し方講座を行いました。

● 吹田の歴史探索(卑弥呼の時代へタイムスリップ)

吹田市内、千里丘陵では200ヶ所以上遺跡、土器や瓦を焼いた窯が発掘されています。我々が生まれ育った地域の歴史、文化、伝統の理解を通して、より一層地域に対する愛着を持つ事、地域の人々へ歴史を語り継承していく事を目的とし、吹田の歴史を語る上で土器作りは欠かせないと考え、土器作り体験と古代食体験を小学校高学年を対象に行いました。予定の3倍近い126名に参加頂き、体験を通して子供達の目の輝きを間近で感じる事が出来ました。



● 地域青少年きょういく事業 ～みんな集まれ～

世代間を越えた青少年育成を目的とし、①「モノの豊かさ」「こころの豊かさ」について子供達に感じてもらう。②学年、学区を越えた子供社会というものを体験してもらう。この2つをテーマに2ステップに分けて事業を行いました。



ステップ1「みんな集まれ」は、江坂大池小学校の御協力の元、主催者側の我々の勉強会として行いました。次のステップへは手応えより、不安ばかりが多く残ったのですが、進むべき道をはっきりと認識することが出来、良い企画であったと思います。ステップ2「みんな集まれ PART II」「豊かさ」とはなんだろうかという難題について、市内の小学生60名に参加頂き、ゲームを通して考え、感じてもらう事業を行いました。参加して頂いた子供達にも、新たな触れ合いと豊かさについてのヒントを感じ取ってもらえたと確信しています。これから青少年事業を行う際には参加した子供達の事業前後での意識変化を保護者へ知らせる事が出来ると思いました。

● ジョイントプロジェクト ～国内青少年キャンプ～



豊かな心をはぐむために、まちづくりの意識をさらに強くもてるような「きょういく」プログラムを模索する事を目的とし、96名の小学生・一般の方に参加・協力頂き、家族旅行村 ビラデスト今津にてキャンプを通じた将来のまちづくりリーダー育成事業を行いました。

次年度段階より、香港にて香港と中国のこども達と共同でキャンプを開催する事が決まっておりますが、米国・イラク戦争やSARSのアジア蔓延により、参加者が見込めず、急遽、それぞれの国においてのキャンプに変更となりました。

事業後に行った同窓会で回収しましたアンケートを見てみると、参加者のこどもの「また参加したい」

であるとか、保護者の方の「感謝しております」などの言葉が思ったよりも多く、実生活においても率先して炊事などの手伝いをするようになった。とありました。

また、こどもが「長」の付くものに今まで抵抗があったが、このキャンプでリーダーを担当して、運動会の応援団長を率先して引き受けた事を聞くと、我々自身が逆に、こども達から教えられたように思い、このような活動の大切さ実感する事が出来ました。

活動軌跡

- 1/9 ◆新年賀会(メシアター)
- 1/18 ◆1月度定例会(京都)
- 1/26 ◆サッカーフェスタin吹田(吹田市立総合運動場)
- 2/18 ◆2月度拡大開定会  
講師:お好み焼きの千房 中井正嗣氏  
テーマ:いま、企業経営に求められるものは
- 3/6 ◆3月度出張定例会(長浜 黒壁)  
テーマ:黒壁の戦略とまちづくり
- 3/28~30 ◆オーシャンJC訪問(香港)
- 4/12 ◆みんな集まれPART1(江坂大池小学校)
- 4/17 ◆吹田江城ICとの合同定例会
- 5/13 ◆北地域合同定例会(千里阪急ホテル)  
講師:元衆議院議員 中村鋭一氏  
テーマ:「笑門来福」そして元気!
- 5/17 ◆吹田の歴史探訪(吹田市立博物館)
- 6/18 ◆6月度定例会 テーマ:パワーポイントによるプレゼンテーション
- 6/21 ◆みんな集まれPART2(江坂大池小学校)
- 6/29 ◆夏の家族会(舞洲スポーツアリーナ)
- 7/18 ◆7月度定例会 テーマ:吹田の未来を考える
- 7/19・20 ◆サマーコンファレンス2003(横浜)
- 8/18 ◆OB合同定例会(フタバホテル)
- 8/23・24 ◆ジョイントプロジェクト～国内青少年キャンプ～(ピラデスト今津)
- 8/28~30 ◆JCIアスパック(セブ島)
- 9/18 ◆吹田RACとの合同定例会  
講師:吹田警察署 永村義昭氏  
テーマ:吹田市内における少年犯罪の低年齢化の現状とこれから
- 10/2~5 ◆日本JC全国大会(福井)
- 10/16 ◆3LOM合同定例会(真面観光ホテル)
- 11/3~10 ◆JCI世界会議(コペンハーゲン)
- 11/18 ◆11月度定例会(新大阪江坂東急イン)  
講師:プロゴルファー 古市忠夫氏  
テーマ:あきらめるな
- 11/21 ◆OB合同じゃがいもゴルフコンペ
- 12/14 ◆褒賞授与式・卒業式(ホテル日航バイサイド大阪)  
◆クリスマス家族会(U.S.J)

\*会員数: 54名/卒業生: 6名



井上 雄介  
34 代理事長

● 3月度定例会の設営と運営

全ての個が社会貢献出来るまちの実現を目指す事を目的とし、実際にJCが創設に携わった滋賀県長浜市の黒壁を訪れ、長浜JCの協力の下で現地視察、例会設営を行いました。

参加したメンバーが互いに刺激を受け、直接肌で感じ、他LOMとの連携・交流を深める事で単体では出来ないスケールメリットのある新しい例会の可能性を見出す事が出来ました。また、吹田JCとして、今後まちづくり事業に対する携わり方や引継ぎ、地域との連携についてのヒントを見出す事が出来ました。

「情熱が、明日をつくる！」

あした

近畿地区 大阪ブロック協議会褒賞申請書 アルバム



今から35年前、世界中の人々がここに集い未来を夢見ました。そして、今ここにあの時夢見た未来があります。私達は、何か大切なことを忘れていないでしょうか・・・?

**本道の「進歩と調和」を目指して**

ひと昔前は、隣人同士が理解し助け合い、安心・平和があたり前にありましたよね？  
 他人事にはしていませんか？  
 共感出来る仲間を他人事にできませんよね？

共感出来る仲間発見のために、まずは、再び太陽の塔の下で心を一つに平和のメッセージを発信しよう。

地域の人々の手で、国連加盟の191カ国の国旗を人文字で表現し、平和のメッセージとして世界へ発信しよう！！

●世界が吹田でひとつになる日

国・地域・年齢・民族・宗教立場の違う人同士が力を合わせ共通の目標を掲げ、心をついにし、一人でも多くの人と共に達成し、感動と笑顔を共有する中で、ひと・まち・くに・地球（ほし）への愛情へとつなげる事を目的とし、地域の人々と協働し、今再び太陽の塔の下で、世界の人々そして地域の人々が心を一つにして「人文字」で最も多くの国旗を表現した記録」を初めての試みとして挑戦しました。愛・地球博の開幕で万博ムードが盛り上がる中、当初から行政や

メディアには大きな関心を持って迎えられる、NHKをはじめ多くの媒体で取り上げられ、吹田市そしてJCを広くPRする事が出来ました。より多くの地域の人々に参加して頂き且つ、楽しんで頂くため、ギネス挑戦前にステージを設け歌や踊りを披露する場と、外国文化の雰囲気を感じて頂くために飲食ブースを設けました。外国の人々とも、協働することを目的に「Up With People」のメンバー（26カ国から約100名）にも運営側として参加頂き事業を実施しました。

あいにくの雨にもかかわらず、スタッフは200名を超え参加者3000名余りが参加し、空撮のヘリコプターに向かって一斉にそれぞれの国旗用のパネルを掲げ終えた後は会場中が歓声に包まれました。また、この事業を機に地域に広く吹田JCを認知して頂く事が出来ました。次回以降は一定の理解の下での実施が可能となつていく為、希望する市民団体があれば事業の主体を移管し、さらに発展させていっていただくことも今後の可能性のひとつだと考えています。また、今回の事業で出来た横の繋がりを活かし、新たなまちづくりに挑戦して下さい。



1. 和太鼓衆「龍の鼓」  
 2. Up With People 世界の歌とダンス  
 3. 全体写真



4/28～5/2  
 世界が吹田でひとつになる日

活動軌跡

- 1/11 ◆新年賀会(メシアター)
- 1/18 ◆1月度定例会  
テーマ:みんなで、達成しよう!
- 1/23 ◆サッカーフェスタin吹田(吹田市立総合運動場)
- 2/17 ◆2月度定例会  
講師:八尾JC OB 安多茂一氏  
テーマ:"Invest Yourself"
- 3/18 ◆3月度定例会(サニーストンホテル)  
講師:朗読演劇家 花邑てん女史  
テーマ:五感を呼び覚ますことばの不思議
- 3/20 ◆オーシャンJC訪問(香港)
- 4/18 ◆4月度定例会  
テーマ:世界が吹田でひとつになる日
- 4/28～5/2 ◆世界が吹田でひとつになる日(万博記念公園)
- 5/28～30 ◆JCIアスパック(マカオ)
- 5/10 ◆北地域合同定例会(帝国ホテル大阪)
- 6/17 ◆6月度定例会  
講師:門真JC OB 齊藤信吾氏  
テーマ:マインドマップ
- 7/19 ◆7月度定例会  
テーマ:今後のJC運動を考える
- 7/23・24 ◆サマーコンファレンス2005(名古屋)
- 7/30 ◆日本JC全国協議会(グランキューブ国際会議場)
- 8/24 ◆8月OB合同例会
- 9/3 ◆31ロム合同例会:大阪ブロック事業(ハイアットリージェンシー大阪)
- 9/20 ◆9月度定例会  
講師:大阪学院大学教授 国定浩一氏  
テーマ:阪神タイガースの経済効果はごついで!
- 9/29～10/2 ◆日本JC全国大会(姫路)
- 10/18 ◆3LOM合同例会(千里阪急ホテル)
- 10/24～29 ◆JCI世界会議(ウィーン)
- 11/12 ◆OB合同じゃがいもコンペ
- 11/18 ◆11月度定例会  
テーマ:感動のまちづくりを目指して
- 12/4 ◆冬の家族会(神戸)
- 12/19 ◆12月度定例会(梅田 玉姫殿)

\*会員数:39名/卒業生:8名



井上大輔  
36代理事長

●7月度定例会

さらに飛躍した青年会議所運動を行う為に研究し、今後の時代にふさわしい吹田青年会議所を築き上げる手法を模索した上で、中期ビジョンを策定する事を目的とし、中期ビジョン策定会議においての過去の運動の調査・研究、40周年にむけてのビジョンの発表を行いました。JC運動を改めて考える機会作りになれたと思います。

ビジョンに添付したチェックリストは過去、色々な運動をやってきた方々のエッセンスがたくさん詰まっています。今後、参考にし有効活用して下さい。

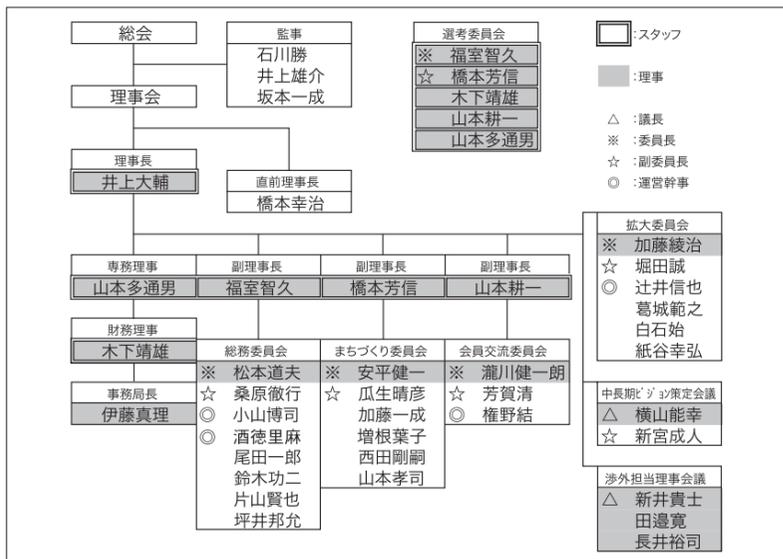
●3LOM合同例会

合同例会を設け、吹田JCの「志」を発信し、近隣LOMとの交流を深める。新入会員の登壇門ともいえるこの事業を経験する事により、今後のJC活動の礎とし、経験を通してLOM内の人材育成を目指す事を目的とし、吹田JC主管で行いました。

第一部 理想のまちを考えよう  
 第二部 各LOMが良きライバルとしての意識を高めるためLOM対抗野球ゲームを行いました。

仮想選挙を行いました。

組織図



『妥協なき行動』 ～愛する我がまちのために～



8/3-6 Joint Project in 香港



Joint Project in 香港

IT化・デジタル化の影響で子ども達の遊びも急激に変化しました。それは、「屋外」から「屋内」へ、「友達同士」から「一人で」へ、そして「深夜時間帯」へと遊びの姿が変わりつつある事です。それは子ども達の「創造力」の芽生えを遮る恐れのある重大な問題です。この事業は、子ども達の豊かな「創造力」に着目し、子ども一人ひとりが持つ無限の可能性に期待を込め実施しました。遙々香港の地まで赴き、その土地の気候、文化、習慣などを体験することにより視野を広げるばかりでなく、現地の子ども達との交流や、共同作業など様々な体験プログラムを通じて、異文化への理解を持ち、互いの友好を深めることができました。またメインプログラムでは自分達の手で創り出した「ゲーム」を披露しあい、正に「創造力」への挑戦とも言うべき貴重な体験を得ました。審査により日本チームが優勝し、翌日の新聞で写真付きで紹介されました。

●青少年育成の実施 (総合学習の実施)

市内中学校の授業時間をお借りして、JCメンバーが生徒達に職業についての講話をする事業を実施しました。

活動軌跡

- 1/11 ◆新年賀会(メインアター)
1/19~22 ◆京都会議
1/22 ◆サッカーフェスタin吹田(吹田市立総合運動場)
1/30 ◆ブロック合同出陣式
2/17 ◆2月度定例会(テーマ「資質向上」、担当:会員開発委員会)
3/17 ◆3月度定例会(テーマ「団結(きずな)」,担当:会員開発委員会)
4/18 ◆4月度定例会
講師:経済評論家 池田健三郎氏
テーマ「まちづくりを行う人を創る為のマニフェスト型選挙を目指して」
5/15 ◆北地域合同定例会
講師:白井のり子女史
テーマ「人はいかに強くて尊いか」
5/21 ◆ボランティアフェスティバル
5/24~28 ◆CIAスブック(高松)
6/5 ◆総合学習事業の実施(竹見台中学校)
6/17 ◆環境教育フェア
6/19 ◆6月度定例会
講師:佐竹台小学校校長 佐々木春美女史
テーマ「青少年の創造力やリーダーシップを育む環境とは?」
6/23 ◆総合学習事業の実施(古江台中学校)
7/8 ◆近畿地区会員大会(榎原)
7/18 ◆7月度定例会
講師:守口門真JCシニアクラブ 榎橋秀行氏
テーマ「青年会議所」
7/20~23 ◆サマーコンファレンス(横浜)
7/29・30 ◆吹田まつり
8/3~6 ◆Joint Project in 香港(香港西貢キャンプ場)
8/18 ◆OB合同定例会
講師:立原啓祐氏
テーマ「健康」
◆ブロック会員大会
9/19 ◆9月度定例会(テーマ「夢・未来」、担当:会員開発委員会)
10/5~8 ◆全国大会(郡山)
10/18 ◆10月(3LOM合同)定例会(箕面観光ホテル)
11/10~19 ◆世界会議(ソウル)
11/20 ◆11月度定例会
講師:佐野滋紀氏
テーマ「日米野球を通じて学んだこと～全ては自分次第!～」
11/26 ◆ひとり語り講演会
講師:今村克彦氏
テーマ「理想を語る教育～ホンマの子ども、見たってや～」
12/1 ◆ブロック大会
12/18 ◆卒業式・褒章授与式(Le Jardin)

\*会員数:54名/卒業生:2名



橋本 芳信 37代理事長

●ひとり語り講演会

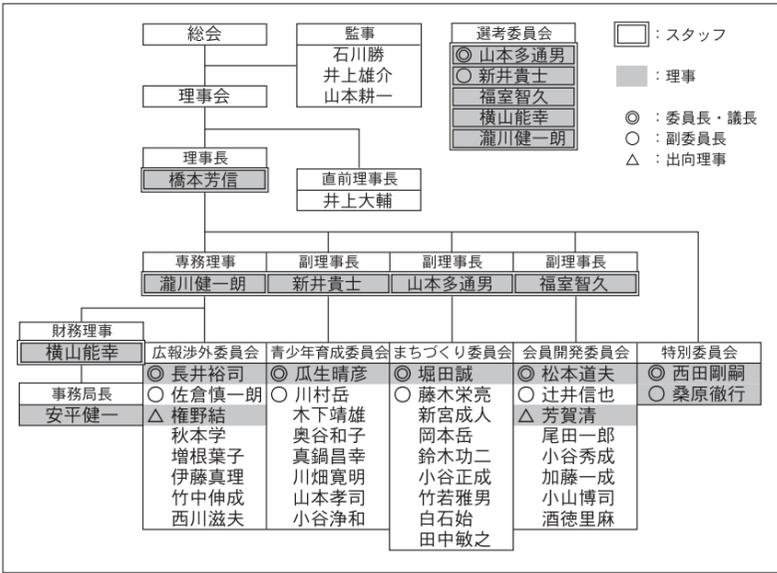
青少年の「創造力」と「リーダーシップ」の育成にポイントを絞り、またJCメンバーの「修練」の場として、自己分析(TA)セミナー及び職業講話の2本立てで行いました。自己分析では、生徒達にとっては自分自身の長所・短所を把握する機会となり、先生達にとっては生徒達のタイプについて再確認できたとの声を頂きました。その後の職業講話では6人のメンバーが教壇に立ち、各々の職業についての話をしました。JCメンバーが学校で授業をするという初めての試みでしたが、結果的には大変良い手応えで、次年度以降への繋がり、またその先に繋がる運動を予感させる事業でした。



6/5,23 総合学習事業の実施



組織図



2006年度スローガン『妥協なき行動』～愛する我がまちのために～・・・1年間メンバー全員がこの言葉を心に刻みながら・・・とスタートして1年間通して、ありがたい事に本当に多くのメンバーがこの『妥協なき行動』を心に刻みながら、すばらしい行動をしていただき感謝しています。妥協なき行動は今年度で終わりです。私自身今までこれで完璧だ。これ以上する必要がない。とそこで終わっていました。けれどそこでとまってしまったら、それ以上には進む事ができません。だからもう一歩、完璧だけでもう一度確認しよう。もう少し頑張ろうもう少し調べよう、勉強しよう。もっともってやってみようという気持ちでこの妥協なき行動には入っています。今年度そういった気持ちで皆さんには行動していただけたと思います。そしてその気持ちは心の中に刻まれたと思います。これからもその気持ちを忘れずに頑張ってください。

いじめや自殺または教育について、親・学校・教師等の問題がマスコミに取り上げられ大きな社会問題となった年でした。国では教育の再生を図る目的で、内閣に教育再生会議が設置されました。本講演会では、教育現場の生の声を聞き、そこから導き出される何かを吹田市民に感じて頂きたいの思いから実施致しました。講師は関西京都今村組の今村克彦先生、講題は「理想を語る教育」ホンマの子どもに見たってや!」です。今村先生の小学校教諭時代の体験を軸に、熱く、楽しく、時には哀しみ溢れる講演内容に、これからの学校教育の理想に向けてどうすべきか深く考えさせられました。

優しさを溢れるまちへ、垣根を超えた理解から生まれる優しさを力に！

40年の歩み



5月-7月 野菜物語

野菜物語

〜思いやりで作る野菜〜

参加者自身が野菜を種蒔きから育て上げ、収穫し、それを吹田まつりで販売するという流れで実施しました。野菜作りは思いのほか順調に進み、収穫時の参加者は初体験の喜びで溢れていました。また模擬店販売時の子ども達は水を得た魚のように生き活きと活動し、モノを売る楽しさに時が経つのを忘れていた様子でした。

野菜作りも大事でしたが、野菜物語では世代間交流が大きなテーマで



した。互いが持つジェネレーションギャップを少しでも解消できればとの思いから実施しました。事業を通じて、子どもは大人の知恵・技術・コミュニケーション能力等を肌で感じ、大人は子どもの感性・意欲・適応力といったものを感じてくれたと思います。そして合計6回にも及ぶ回数が多い事業でしたので、異世代間の交流が深まったと感じた3カ月間でした。

知ってる？ 仕事の楽しさ！未来の自分！

(総合学習事業)

若者の早期離職問題及びニート、フリーター問題。そして事前アンケートでの意外な結果(将来に夢や希望がない・中高生の約4割)。2006年度の継続事業として再スタートを切った本事業の出発点はその2つの問題でした。そんな彼らに仕事の楽しさを訴えるべく、3校で15名の講師に教壇に立つて頂きました。また講義のポイントとして4点挙げました。①コミュニケーションの重要性、②自分の為ではなく人の為にすること、③何事も一生懸命にやること、④継続は力なり。即ち「ひと」としての思いやりや優しさ・感謝といったものを

活動軌跡

- 1/18 ◆新年賀会(メインアター)
1/18~21 ◆京都会議
1/21 ◆サッカーフェスタin吹田(吹田市立総合運動場)
1/30 ◆ブロック合同出陣式
2/19 ◆2月度公開定例会
講師:毎日放送 石田英司氏
テーマ「情報の大切さと活用術」
3/19 ◆3月度定例会
講師:衛ティガ 北谷博幸氏
テーマ「優しさを溢れるコミュニケーション」
4/9 ◆吹田市長選挙公開討論会(メインアター)
4/18 ◆4月度定例会(担当:ひとづくり委員会)
テーマ「中高生が持つ職業意識について」
5/6 ◆野菜物語・事業説明会(市民会館)
5/13 ◆野菜物語・第1回目(千里山東4丁目)
5/18 ◆5月度定例会(担当:広報委員会)
テーマ「公開討論会を検証し、今後の取組みを考える」
5/27 ◆野菜物語・第2回目(千里山東4丁目)
5/27 ◆ボランティアフェスティバル
5/31~6/3 ◆JCI アスバック(台湾)
6/8 ◆知ってる?仕事の楽しさ!未来の自分!(竹見台中学校)
6/14 ◆北地域合同定例会
講師:政治評論家 三宅久之氏
6/15 ◆知ってる?仕事の楽しさ!未来の自分!(第三中学校)
6/17 ◆環境教育フェア
7/2 ◆知ってる?仕事の楽しさ!未来の自分!(古江台中学校)
7/7 ◆近畿地区会員大会(京丹後)
7/16 ◆野菜物語・第3回目(千里山東4丁目)
7/18 ◆7月度定例会(担当:まちづくり研究会)
テーマ「公益法人制度改革・LOOP07について」
7/21~22 ◆サマーコンファレンス(横浜)
7/23 ◆野菜物語・第4回目(千里山東4丁目)
7/28 ◆野菜物語・第5回目(吹田まつり江坂会場)
7/28~29 ◆吹田まつり
8/23 ◆OB合同定例会
講師:太平サブルー氏
テーマ「交流とつながり」
9/2 ◆ブロック会員大会
9/18 ◆9月度定例会(担当:制度改革対応会議)
テーマ「未来の公益法人の可能性・これからの対外事業の拡がりについて」
9/27~30 ◆全国大会(帯広)
10/23 ◆10月(3LOM合同)定例会
講師:フリーアナウンサー 羽川秀樹氏
テーマ「やる気をおこす、ビジネスコーチング」
11/5~11 ◆世界会議(トルコ)
11/19 ◆11月度定例会(総合学習について)
講師:古江台中学校教諭 松浦克正氏
11/21 ◆会員開発プログラム(創造・CMについて)
講師:大阪芸術大学教授 岩崎富士士氏
12/1 ◆ブロック大納会
12/9 ◆冬の家族会(梅田スカイビル「樺宮」)
12/18 ◆卒業式・褒章授与式(ホテルモントレ大阪)

\*会員数:47名/卒業生:5名



山本 多通男 38代理事長

前面に出し、生徒達に仕事に対する楽しさや意欲が沸々と湧き起こって欲しいとの願いを込め実施しました。

吹田市長選挙公開討論会

吹田市の未来を語る

多くの有権者は限られたマスメディアの一方的な情報や不確定なまじの噂などから候補者の施策や人柄を推し量るしかありません。「公開討論会」は各候補予定者の将来へのビジョン・施策・人柄を直接比較しながら聞くことができる公正な場です。JCが市長選の公開討論会を実施すること、民と政とまちづくりの「協働関係」を構築していく切欠になる

と確信し事業に取り組みました。2007年4月9日夜のメイシアター中ホール。平日にも拘らず立見も出るほどの市民が見守る中実施致しました。吹田市長の座を志す候補者として阪口善雄氏、寺尾恵子女史、岩根良氏の3氏を招き、山本理事長(当時)がコーディネーター役を務め「クロストークを交えた公開討論会」の形式で実施しました。

当日は吹田ケーブルテレビジョンによる生放送も実施され、事後アンケートでも「また開催してほしい」の声が非常に多く寄せられ、市民の興味深さを実感する事ができました。



2007年度は、吹田JCにとってのターニングポイントの一年となりました。

日本の公益法人の中でもいち早く公益法人制度改革に対応し、多くの青年会議所にその意義を伝える役割を担う事となりました。いち早く、選挙公開討論会を、吹田JCメンバーだけで行うということにチャレンジし、メディアを通じてJCのまちづくりを市民に伝えることができました。そんな大きな変化の中でも、野菜物語という新しいひとづくり事業を実行し、拡大や研修にも新しい力を注ぎ続けました。

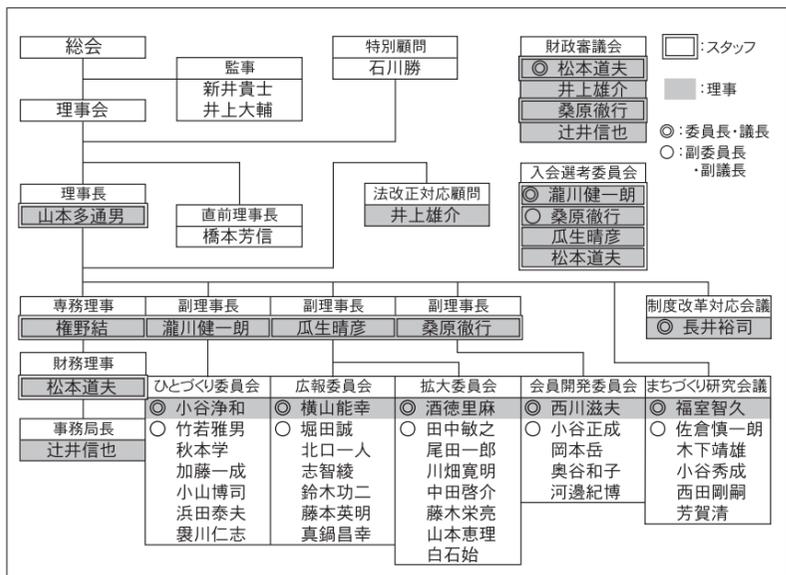
知ることから生まれる「優しさ」が力を与えてくれるものと信じたから、「知る(理解)」を徹底したから、新たな挑戦を続けることができたと思います。

我々青年が、環境問題、CSR、高齢化社会、格差社会等「公益事業」というものに悪戦苦闘していかねばならない中で、「社会と相手への理解」というものを置き去りにして議論を進めていくことが、どれだけ陳腐な対策を生み出すか。そんなことを胆に銘じ続けた一年でした。



6/8,6/15,7/2 知ってる?仕事の楽しさ!未来の自分!(総合学習事業)

組織図

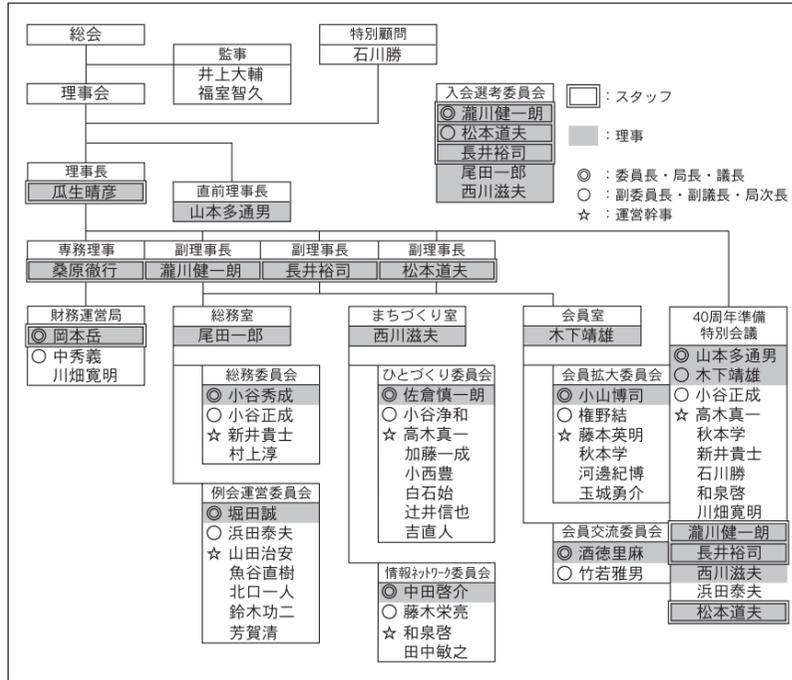


未来(あした)のために、心をつなぐ!



平成19年度 吹田市文化のまちづくり推進者表彰式典記念 於 メイシアター

組織図



2008年度は、「未来(あした)のために、心をつなぐ!」をスローガンに掲げ、「40周年ビジョンと都市の魅力」と題して、市民の皆様とこれからの吹田を考える公開定例会の開催、今年3年目となる市内中学校における「総合学習事業」そして「吹田水物語」と題して小学生と高齢者がいっしょになつたまち歩きをなかで、異なる世代間の交流を通して吹田市発展の途上に古くから関わりが多い水にまつわる歴史を学ぶことにより生まれる吹田のまちへの郷土愛を育む事業を行いました。また、来年の40周年に向けて過去の周年事業の検証、40周年事業についてメンバー間の統一を図ると同時に45周年に向けてのビジョンを策定いたしました。そして昨年より本年度に託された公益社団法人への申請準備として総会にて公益社団法人認定後の定款変更の決議を得て12月1日に申請し大阪府下でも最も早く受理され、1年を通して未来につながる活動ができました。

活動軌跡

- 1/15 ◆新年賀会
1/17~20 ◆京都会議
1/20 ◆サッカーフェスティバル吹田(吹田市立総合運動場)
1/30 ◆ブロック合同出陣式
2/18 ◆2月度定例会
3/18 ◆3月度定例会
4/18 ◆4月度定例会
5/18 ◆北地域合同定例会
5/25 ◆ボランティアフェスティバル
6/12 ◆未来(あした)のわたしを・・・創造!!(竹見台中学校)
6/18 ◆6月度定例会(総合学習事業について、担当:例会運営委員会)
6/19 ◆未来(あした)のわたしを・・・創造!!(豊津西中学校)
6/21 ◆環境教育フェア
7/6 ◆近畿地区会員大会(新宮)
7/18 ◆7月度公開定例会
7/19~20 ◆サマーコンファレンス(横浜)
7/26~27 ◆吹田まつり
8/18 ◆OB合同定例会
9/6 ◆ブロック会員大会
9/21 ◆吹田水物語〜吹田の水と歴史探検〜
9/24 ◆9月度公開定例会
10/9~12 ◆全国大会(浜松)
10/17 ◆10月(3LOM合同)定例会(新大阪江坂東急イン)
11/4~9 ◆世界会議(ニューデリー)
11/18 ◆11月度定例会
12/1 ◆ブロック大納会
12/7 ◆冬の家族会(ホテル大阪ベイトワ)
12/18 ◆卒業式・褒章授与式(堂島ホテル)

\*会員数:46名/卒業生:9名



瓜生 晴彦 39 代理理事長



吹田水物語

吹田水物語
吹田の水と歴史探検
吹田市は水と関わりが深い町です。市内は8つの川が流れ、昔は神崎川、淀川の水利で栄えた半面水害も沢山ありました。地下水が豊富なことからビール会社の工場もできました。また、「吹田の3名水」と呼ばれる「佐井の清水」「泉殿霊泉」「垂水の瀧」もその関係性に深みを感じさせます。そういった市内に点在する水の名所、旧跡を「まち案内人」から学び、自分の住む町吹田をもっと好きになつてほしいとの思いから事業を実施しました。また、アクアドクターや語り部などにもご協力頂き、事業に花を添えて頂きました。参加者の小学生達は郷土吹田の水の歴史と環境について学ぶ事ができ、世界各地で起きている水被害や枯渇で人々が苦しんでいる事を知り、多岐に渡つて水についての興味・関心を持つ事ができました。朝の大雨に急遽プログラムを変更しましたが、これも水関連事業だからこそ?のハプニングで結果的に吉となりました。

未来(あした)のわたしを・・・創造!! (総合学習事業)

6月12日(木)、6月19日(木)3年連続で実施された総合学習事業で、講師は2校で15名でした。講義のポイントは4点。①自己の実現(自己の夢を実現させるための手段としての仕事)②達成感と喜び(取り組みにチャレンジする精神)③働くことでの社会貢献とは④仕事のつながりの大切さ(意思の疎通から人と人の心の通いやコミュニケーション)です。

また、今回の講師陣は団塊世代の方々を中心にお迎えした事が一つの特徴でした。500万人を超えると言われる定年退職者をまわづくりに巻き込む方法の一つとしての考案でした。彼らの豊かな経験値が、青春只中の中学生達の大きな肥しになった事と思います。今後のこの事業が発展していく為には、吹田JICと繋がりのある他のボランティア団体との連携、市内でCSRに積極的に取り組んでいる企業との融合等が必要不可欠になるのではないのでしょうか。



9月度公開定例会

9月24日(水)メイシアターにて開催しました。第一部の基調講演として大阪府立大学特別教授の橋爪紳也氏に「世界の都市間競争 大阪の再発見と水都大阪の再生」と題し講演していただきました。橋下徹府知事と共に政策を進める氏の独自の視点により、文化的・歴史的に魅力のある大阪をより魅力的な街へと発展させていく幾つかのビジョンを示して下さいました。

第二部は、阪口市長・橋爪氏・瓜生理事長と3名にて「吹田まちづくり40周年ビジョンと都市の魅力」その未来をテーマにしたパネルディスカッションでした。吹田が「グレート吹田」として輝く為の意見を3氏から伺いました。都市間競争の今の潮流を知り、今後の吹田市における都市(まち)としての魅力を高めていくことに繋がる議論を市民に発信することができました。



# VISION

## 40周年に向けてのビジョン

すいたを郷土として愛し、  
共にまちづくりを行う「ひと」を創る。

JC運動が理想とする「まちづくり」とは、あらゆる世代を視野に入れた「ひとづくり」なのです。

吹田JCは40周年に向けて、「人間力開発」運動を基軸とし、

「きょういく運動指針」「地域開発運動指針」「経済開発運動指針」という3つで運動してまいります。

2005年8月24日 通常総会採択



### (1) JC運動の機軸としての「人間力開発」

JC運動の機軸は、自らに活力と知力とを兼ね備え積極果敢に社会改革運動を実践できる人間、そんな人間力の開発に求められるべきです。JC運動が理想とする「まちづくり」とは、すべての市民を視野に入れた「ひとづくり」、すなわち、すべての市民を視野に入れた「人間力開発」運動なのです。

### (2) 3つの運動指針

#### 1 きょういく運動指針

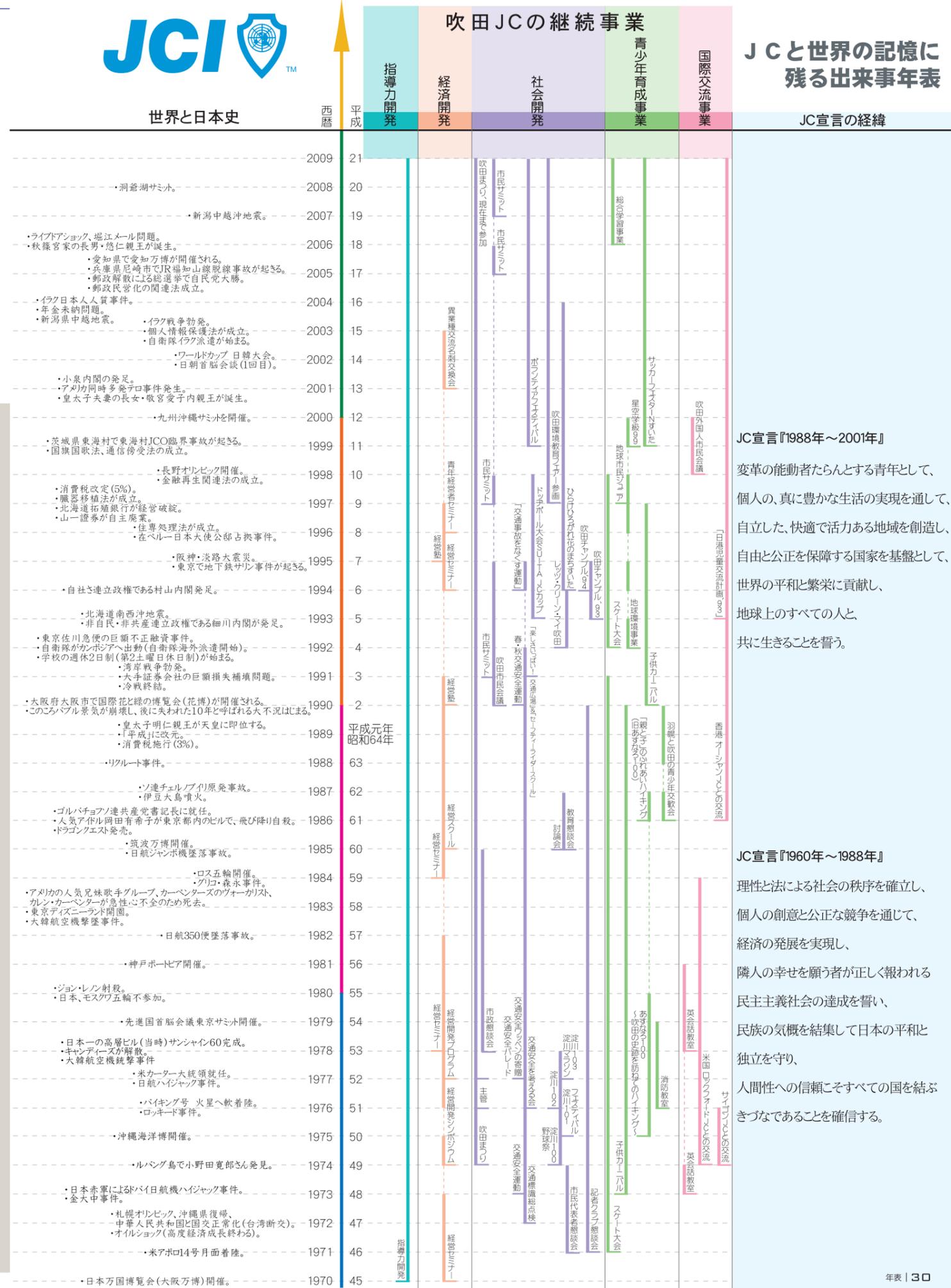
- ①伝統、文化、精神、に支えられた「新たなモラルの構築」
  - >> 日本が、そして日本人が長い歴史の中で大切に育んできた「伝統」「文化」「精神」「公共心」「道徳」「組織の和を尊ぶ倫理規範」などに積極的に光を当てていく。
- ②自らの誇りと他人に対する愛情を育む「ひときょういく運動」
  - >> 自らの存在意義や生きることの意味、自然との共存と言った根本的なことへの問いかけ
- ③創造力あふれる「きょういく運動」
  - >> 問いかけから学ぶ心の豊かさを確認し、未来に向けての創造力を培う
- ④JC組織を有効活用した「共に育つ人間力開発」

#### 2 経済開発運動指針

- ①活力あふれる経済システムの創造
  - 市場経済価値と社会価値が調和した経済システムの構築
  - 企業が生み出す社会的価値に対する取り組み
  - 新たな企業（起業）の創出と敗者が新たにチャレンジできる経済システムの構築
- ②経営開発への取り組み
  - 会員の本来における確実な成果
  - JCネットワーク・地域各団体との連携によるスキルアップ
  - バランスの取れた研修

#### 3 地域開発運動指針

- ①個と社会貢献を結びつける運動
- ②まちの伝統、文化をふまえた地域アイデンティティの確立（まちの特色創造運動）
- ③地域主権時代へ向けての取り組み





45周年に向けて

45周年に向けた中長期ビジョン 2008年8月18日 通常総会採択

# “2014 The Sustainable City その先へ”

持続可能なまち、その先に生まれてくる変化を、  
あらゆるつながりで はぐくむ吹田へ

あらゆる“異”がつながる、  
そこに心が通じる、  
そんなとき吹田は、  
持続可能性のあるまちの、  
その先の社会を感じ始めるの  
だと信じています。

世代の違う人が、つながる **世代間交流事業の実施**

異国の人が、つながる **国際事業の実施**

イデオロギーの違う人が、つながる **選挙公開討論会の実施**

人と自然が、つながる **環境事業の実施**

CSR とまちづくりが、つながる **LOOP 経済システムの実施**

青年とまちが、つながる **会員拡大の実施**

## 公益法人宣言文 2007年8月23日 通常総会採択

我々の社会は様々な団体と社会的・経済的・政治的関係を持ち、家族から国家に至るまで大小さまざまな目的を異にする団体が存在し、それぞれが社会生活上独立の地位を占め、独自の社会的活動を営んでいる。吹田においても明るい豊かな社会創造・実現を目的に、志同じくする青年が相集い組織的に結合した人の団体として1970年8月22日吹田青年会議所を創立し、吹田の地にJC運動の火が灯った。吹田青年会議所の団体組織としては、創立以来人格なき社団として単なる人の団体としていたものを、法律により法的人格を認められ、権利義務の主体者として扱われる法人格取得を目指し、1984年12月その活動趣旨から民法による公益法人を選択し社団法人格を取得している。2006年公益法人の抜本改革法案が可決され、公益法人制度が1世紀ぶりに改革される中、社団法人という公益法人を選択した吹田青年会議所は新しい制度での団体組織のあり方について決断しなければならない。吹田における青年会議所運動は、国の法制度が変わってもその本質・方向性は変わらないし変えるべきでない。社団法人格をもつ我々吹田青年会議所は、制度改革が施行されようとも、動じることなく、公益法人としての自覚を再確認し、吹田の明るい豊かな社会実現のため、地域においてリーダーシップを発揮した青年会議所運動に邁進していかなければならない。社団法人吹田青年会議所を構成する我々 Jaycee は、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し、志を同じうするもの相集い力を合せ、青年としての英知と勇気と情熱を持って、吹田の明るい豊かな社会を築き上げることを改めて誓うとともに、新たな公益法人制度において次の宣言を採択する。

## 宣言

**2008年施行予定の新公益法人制度において、  
公益社団法人格の申請を宣言する。**

(注) お名前をグレーで記載している方は、故人。※2009年4月17日現在

# 卒業生リスト

1986年度 常深嘉一郎 西角修 松村晴雄	1985年度 家村武志 門脇勇 辻本勲 九鬼史郎 西田泰晤 平栗勲 堀田稔 藪床吉信 由上勇 高木豊 中川克	1984年度 石原澄雄 上野和明 川端淳 花原昭弘 浜野勝海 葛谷捷重 道家臻 安達昌秀 田中進
1989年度 井村卓治 香川正之 川上宇三雄 小谷章夫 小林かほる 柴田充啓 杉本良一 處英治 西村力 藤田雅啓 吉永豊二郎 吉村敏夫 渡邊眞 渡武志	1988年度 足立善信 東秀夫 生野秀昭 石橋平三 衛藤恭 木原一郎 関健次 寺西清 中山安信 柳川義行 伊藤武治 豊嶋薫	1987年度 江藤章人 加藤栄治 菊池信一郎 小西芳雄 佐久間鉄夫 高島常晴 中村英夫 松本常男
1992年度 犬飼和良 兼松茂仁 柴田正 高津昇 中尾智 橋本浩 藤本壽久 堀田庄二 村上裕康 山口篤信 山崎睦治 由上哲生	1991年度 青木亨 浦部文彦 大谷昌広 西川哲成 林俊光 横田聡 八津谷崇 山根伸吾	1990年度 金子武夫 岸明男 木村義雄 古川哲郎 塚腰恵美子
1995年度 大前清彦 金井弘 金築孝一 金子薫 中江得雄 福本浩一 古谷栄男 正岡章 榎家潤也 山本啓方	1994年度 今井豊 大技正人 大谷和生 小野川勝美 川上猶博 貴島永次郎 里内紀文 杉本賢二郎 関藤浩太郎 豊田稔	1993年度 青木建雄 梅宮みつこ 久保登 坂本要 棚原憲吉 頭根学 中村文隆 西川一昌 橋本治 平田千足
1998年度 新井性哲 亀井義信 中山陽 深井喜久 深田拓司 松島弘忠 八巻麻里 山本伸二 木下吉宏 笹井一弘 足田陽造 宮脇一彦	1997年度 有田亮一 石井章雄 伊藤哲夫 加藤利治 清水康文 清水良司 杉林繁次郎 造住康秀 武田裕弘 西尾正司 本浪剛 前田健治	1996年度 尾崎渡彦 曾呂利晴彦 土屋義広 水川健司 柳田仁志 淀井満福 渡邊一彦
2000年度 天野成美 池田彰子 磯野耕二 鍛冶田伸一 木田昌宏 杉本哲也 竹中淳 橋本徹也 原田偉志 播磨邦江 札幌治樹 矢倉昌子	2002年度 奥谷正実 角谷秀明 杉林祐次 西形方良 山口克也 和田哲司	1999年度 岡田倫太郎 小川仁 奥谷栄次 木宗良 木下平人 金馬隆仁 近藤光由 塩山剛司 菅生新 陳明裕 西本健二 橋本豊 坂東弘康 松岡博文 山岡裕幸
2003年度	2001年度 紙谷和典 河野哲治 小暮智 河崎浩一 岸永真治 黒松裕喜秀 辻本巖 富樫弘徳 徳永親俊 中田真市 野口享 羽田定弘	2000年度 尾形丈夫 木下幸人 小崎章年 寺田聡 中野聡 西本章二 野中数博 福岡健治 寺村誠
2006年度 橋本芳信 山本耕一	2005年度 片山賢也 葛城範之 加藤綾治 紙谷幸弘 坂本一成 坪井邦允 橋本幸治	2004年度 奥山幸生 中野紀彦 樋口明彦 三木秀治
物故会員 西尾芳夫 小寺善明 関山博行 片岡博行	2008年度 石川勝 井上大輔 瓜生晴彦 岡本岳 尾田一郎 尾田豊 小西豊 鈴木功二 辻井信也 藤木栄亮	2007年度 井上雄介 奥谷和子 志智綾 西田剛嗣 横山能幸

# 歴代理事長の紹介

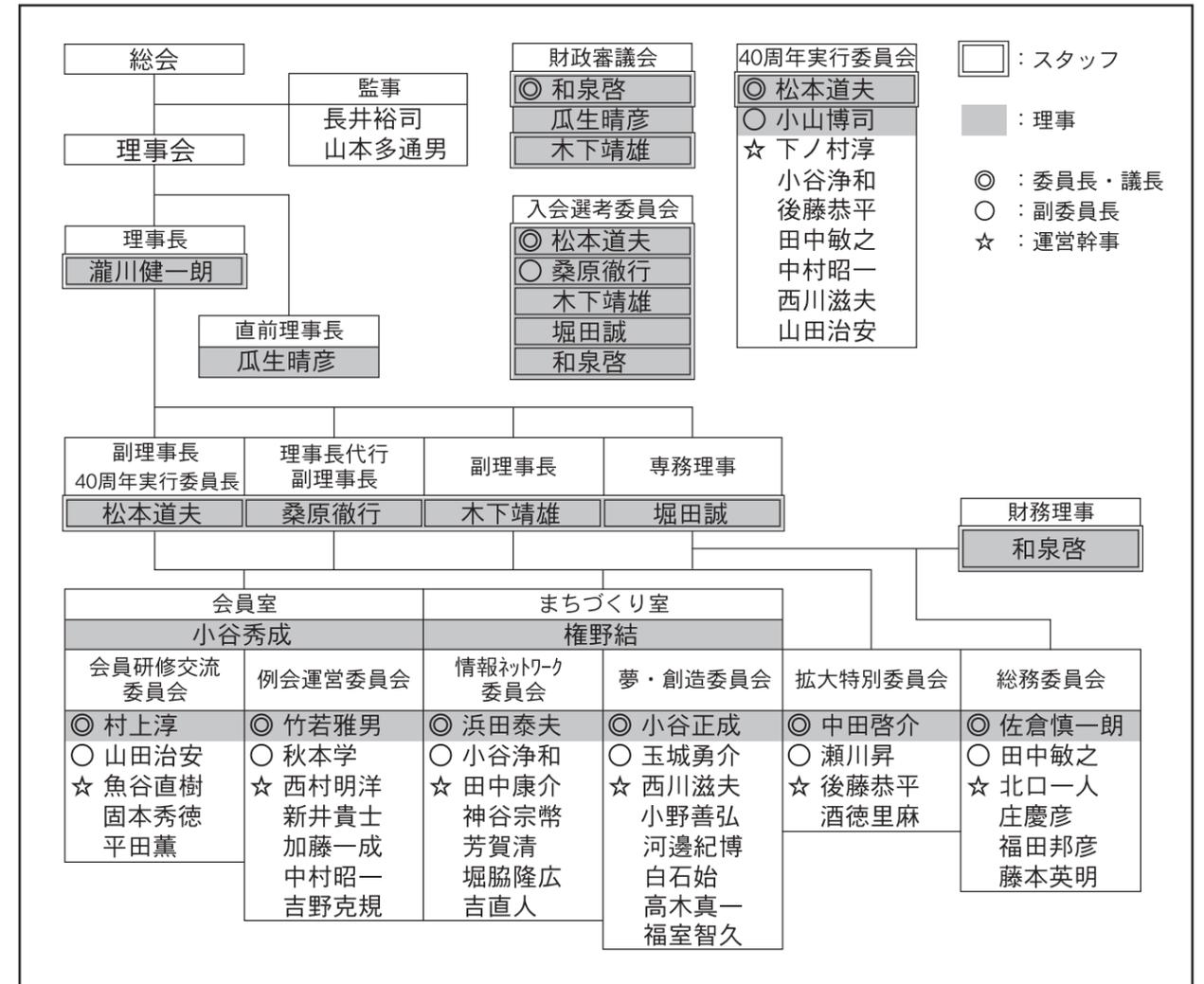
初代理事長：木村俊之	二十一代理事長：西川哲成
二代理事長：曾呂利昌弘	二十二代理事長：橋本浩
三代理事長：井上義信	二十三代理事長：山崎睦治
四代理事長：増田泰士	二十四代理事長：曾呂利晴彦
五代理事長：関山守洋	二十五代理事長：大枝正人
六代理事長：井上暎夫	二十六代理事長：淀井満福
七代理事長：加野元	二十七代理事長：前田健治
八代理事長：藤満宣夫	二十八代理事長：橋本徹也
九代理事長：瀧川紀征	二十九代理事長：木田昌宏
十代理事長：川上浩邦	三十代理事長：西形方良
十一代理事長：関山正彦	三十一代理事長：石川勝
十二代理事長：成尾紹雄	三十二代理事長：尾形丈夫
十三代理事長：中川克	三十三代理事長：坂本一成
十四代理事長：堀田稔	三十四代理事長：井上雄介
十五代理事長：安達昌秀	三十五代理事長：橋本幸治
十六代理事長：家村武志	三十六代理事長：井上大輔
十七代理事長：足立善信	三十七代理事長：橋本芳信
十八代理事長：柳川義行	三十八代理事長：山本多通男
十九代理事長：井村卓治	三十九代理事長：瓜生晴彦
二十代理事長：木村義雄	

(注) お名前をグレーで記載している方は、故人。※2009年4月17日現在

# 卒業生リスト

1973年度 河崎和藏 下司正弘 河崎正生	1972年度 奥村正道 崎中忠幸 福岡英治 木下平次郎	1971年度 北川敏夫 木村俊之 熊田圭泉 山本学 曾呂利昌弘 多田羅達	1970年度 武田隼一
1977年度 花物憲明 松永義苗 侯野幸昌 白藤敦美 加野元夫 井上暎夫	1976年度 徳納信行 関山守洋 神前俊彦 北垣次彦 井上義信	1975年度 佐藤宏 辻次宏治 山崎義英 三好誠 原田博明 塔下泰昌 佐倉久夫 天野義輝	1974年度 河原哲雄 佐藤庄治 武田富男 増田泰士 権野利弘 佐藤潤 笠井登 笹野利登 勝宮徹
1981年度 吉田嘉之 藤木祐輔 橋本憲彦 川上浩邦 川上峻生	1980年度 木村禎宏 本多友豪 郷上勲	1979年度 田中英二 渡里信 藤満宣夫 浜口修二 寺西重博 阪野英夫 川畑武寛 紙谷繁夫	1978年度 大久保紀三 瀧川紀征 若松正身
1983年度 木下俊次 木暮進 山本洋右 三村昌平 樋口正道 浜地正男 津野雄司 関山正彦 坂田芳穂 梶田平治 新井武敏	1982年度 市川盛寿 北村康栄 木下喜昭 桑原忠勝 小谷澄信 小西洋二 田中茂晴 辻欣司 豊嶋昭次 中嶋敬 中村利男 成尾紹雄 西川文男 灰井正起 芳島伸文		

# 2009 年度組織図紹介



## ご挨拶



40周年実行委員長  
**松本 道夫**



『40年』それは人であつたらば社会の責任世代です。とてもひとことでは言い表しがたく、過ぎた月日、積み重ねた経験、人との繋がり、それら全てが活かされ、心身ともに最も充実しているといつても過言ではない時期です。

持続可能なまち、その先に生まれてくる変化をあらゆるつながりではぐくむ吹田を目指し、本年は『Believe Your Possibility』と夢と絆が可能にする、すいたのまちづくりの『スローガン』のもと、市民、企業、行政が三位一体となってまちづくりに参加する姿を想い描いてまいりました。

40年前に夢や希望で輝き、未来への可能性で満ち溢れていた、ここ大阪万国博覧会開催の地において、同じ『時』、同じ『場所』、同じ『目的』、同じ『体験』をすることで、その第一歩が踏み出せると考え『すいたをスキになる日』を記念事業として行ないました。

また、昨年12月1日に申請していた公益社団法人格を取得するに至り、今まで以上に地域のオピニオンリーダーとして、共にまちづくりを行なうひとをつくり、吹田の明るい豊かな社会を築き上げることを改めてお誓い申し上げます。

最後になりましたが、40年もの永きに亘り青年会議所活動に甚大なるご理解とご協力を賜りました市民の皆様、各行政機関、各種団体の皆様方に心より御礼を申し上げますとともに、今後皆様方が益々活躍されることを祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

## 40周年記念誌 編集後記

創立40周年を迎えるにあたり、40周年記念誌発刊の担いを拝命し、無事に発行できましたことを大変うれしく思っております。こうして無事に発行できましたのも諸先輩方をはじめとする多くの関係者の皆様のお力添えがあつたことと深く感謝申し上げます。

この40周年記念誌が後世にまで語り継がれるようなバイブル的な冊子となるように、委員会メンバーが一丸となり40年間の資料収集とまちづくり事業の理解と議論に多くの時間を費やし組み立てて参りました。結果、歴史ある過去の特色を理解しやすく掲載し、これまでの継続事業をわかりやすく表し、今後のJC運動に活用できるものとして発刊できたのではないかと自負しております。

最後に、この記念誌が本欄に並ぶものとしてではなく、手垢にまみれボロボロになるまで何度も読みこまれることで、今後の社団法人吹田青年会議所の運動の一助となりますことを委員会メンバー同心より願っております。

情報ネットワーク委員会一同

## 「D-Suita」のチラシ



## 40周年記念事業のチラシ



## 社団法人 吹田青年会議所

〒564-0052  
吹田市広芝町10-3 サニーストンホテル内  
Tel 06-6386-1475  
Fax 06-6337-1682  
E-mail suitajc@suitajc.jp



**Junior Chamber International Suita**  
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs